

# 院内がん登録 2013-2014年5年生存率集計

---

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/都道府県推薦病院

令和3(2021)年12月  
国立研究開発法人 国立がん研究センター  
がん対策研究所 がん登録センター

---

## 院内がん登録 2013-2014 年 5 年生存率集計の公表について

---

国立がん研究センターでは、がん対策研究所（旧称：がん対策情報センター）・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん情報をもととした生存率集計としては今年 4 月に初めて公表した 10 年生存率、5 年生存率、科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するためにより早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

本報告書では、がん診療連携拠点病院をはじめ全国 524 施設から 2014 年診断症例の 5 年予後情報付データを提供いただきました。このうち、集計基準である生存状況把握割合が 90%以上であった 415 施設のデータと、2013 年診断症例について同様の基準をクリアした合計 437 施設 875,381 件のデータを用いて、2013-2014 年 5 年生存率集計報告書をまとめました。本報告書では特別集計として、院内がん登録を用いた生存率集計としては初めて小児がんと AYA 世代のがんの 5 年生存率を集計するとともに、サバイバー生存率を集計しました。

本報告書の内容のうち、がんや病期、年階級別の生存率の結果詳細については、Web 上の院内がん登録生存率集計結果閲覧システムからご覧いただけます。本集計結果が、がん対策立案やがん患者さんへの情報・資料として活用されることを期待します。

令和 3 年 12 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 齊

## 生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2013、2014 年全国集計の結果を踏まえて、2013-2014 年に診断された例の 5 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

### 1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法<sup>1)</sup>を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

### 2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以

外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない。そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢・診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきており、それぞれ特徴があるが、相対生存率に変わる方法として、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が目まされている。本集計においては、従来からわが国で推奨されてきた Ederer II 法を用いた。

### 3) 既存の生存率集計

現在までに、原則として全国を対象とし、かつ臓器別ではなく、全がんを対象として公表されてきたがんの 5 年生存率には、地域がん登録によるもの、全国がんセンター協議会によるものがあり、これらは全て相対生存率で算出されている。

本集計は、人口ベースのデータに近い、臓器別の全国データや、都道府県別データであるため、実測生存率とともに、相対生存率を算出した。

### 4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。更に、都道府県別の集計結果を記載しているが、施設数が少ない都道府県のデータについてはかなりの偏りあるいは不正確さが存在していることを想定する必要がある。このため、ここで示した生存率が、単純に当該都道府県のがん医療の優劣ではないことに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子  
2001年9月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、  
癌の臨床 第46巻第10号、2000年9月、篠原出版新社

## 目 次

院内がん登録 2013-2014 年 5 年生存率集計の公表について .....	2
生存率について.....	3
I 2013-2014 年 5 年生存率集計 調査方法 .....	6
1. 収集の対象と方法.....	6
(1) 収集の対象.....	6
(2) 収集方法.....	6
(3) 収集項目と定義.....	6
2. 集計の対象と集計方法.....	7
(1) 集計の対象.....	7
(2) 集計の手順.....	7
(3) 集計項目の定義.....	8
(4) 集計方法.....	9
(5) 公表の対象.....	9
II 2013-2014 年 5 年生存率集計 結果概要.....	13
1. 調査参加施設と登録数.....	13
2. 集計対象.....	13
3. 相対生存率集計対象者.....	13
III 2013-2014 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍> .....	26
1. 全がん.....	26
2. 胃がん(胃癌).....	29
3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌).....	31
4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌).....	37
5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌).....	41
6. 女性乳がん(女性乳癌).....	45
7. 食道がん(食道癌).....	46
8. 膵臓がん(膵臓癌).....	48
9. 子宮頸がん(子宮頸癌).....	50
10. 子宮体がん(子宮体癌).....	51
11. 前立腺がん(前立腺癌).....	52
12. 膀胱がん(膀胱癌).....	53
13. 喉頭がん(喉頭癌).....	55
14. 胆嚢がん(胆嚢癌).....	57
15. 腎がん(腎癌).....	59
16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌).....	61
17. 甲状腺がん(甲状腺癌).....	63
18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌).....	68
IV. 特別集計小児 AYA がんの 5 年生存率とサバイバー生存率.....	70
付表(2013-2014 年 5 年生存率集計).....	74
1. 集計対象施設一覧.....	

## I 2013-2014 年 5 年生存率集計 調査方法

## 1. 収集の対象と方法

## (1) 収集の対象

本集計では、2021 年 4 月 1 日時点のがん診療連携拠点病院等 451 施設、小児がん拠点病院 6 施設と 2014 年診断例または 2009 年診断例(2014 年 5 年、2009 年 10 年予後情報付収集と同時に収集のため)について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 274 施設、及び当時の全国集計時のがん診療連携拠点病院 20 施設、合計 751 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2014 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2014 年 5 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2014 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者\*である。これら対象例の 5 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

なお、2013 年診断例については院内がん登録 2013 年 5 年生存率集計報告書に記載したとおり、2020 年度にデータ収集を行ったデータを用いた。

## \* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

## (2) 収集方法

2014 年診断例のデータは、2021 年 6 月 10 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2021 年 7 月 5 日から 8 月 6 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん

登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版)において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

## (3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 5 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

## \* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2013、2014 年全国集計報告書を参照いただきたい。

## i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

## ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正し

く識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

### iii. 臨床病期

#### 治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままで登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

#### 術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2013、2014年登録対象はUICC TNM 第7版準拠で登録されている。

### iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

#### ① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

#### ② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

#### ③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

#### ④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

#### ⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

## 2. 集計の対象と集計方法

### (1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2013、2014年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

#### i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

#### ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

#### iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

### (2) 集計の手順

#### ① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例を抽出した。

#### i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区分の決定のルールに基づいて、「項目：集計用診断日」、「項目：集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が 2, 3 であった例を集計対象とした。

#### ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目：330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第 5 桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。また、GIST の良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

#### iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月 >= 生年月日の月

⇒ 診断年月の年-生年

診断年月の月 < 生年月日の月

⇒ 診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が 0~99 歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉞~㉟に該当する場合は集計対象から除外した。

#### ㉞性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目：性別が 9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例：前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

#### ㉟追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目 660：予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

#### ㊱UICC TNM 分類総合ステージが 0 期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院

内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとして UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外は UICC TNM 分類治療前ステージを UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが 0 期であった場合は、集計対象から除外した。

#### ㊲追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2013、2014 年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

#### ㊳集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。5 年生存率を計算する場合には、対象者全員の 5 年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を 100%に近づけるほど、真の値に近づくこととされ、概ね 95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が 90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が 90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が 5 年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の 10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

#### (3) 集計項目の定義

##### ● 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

##### ● 臨床病期

##### UICC TNM 分類総合ステージ

2013、2014 年診断例では、UICC TNM 分類第 7 版に



準拠して UICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計しており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

#### ● 観血的治療

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

#### (4) 集計方法

※四捨五入の関係で、計算が一致しないことがあります。

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、5年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が5年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、5年後の生存状況=死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録

センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016年版)を用い、Ederer II 法を用いた相対生存率を推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、Paul W. Dickman らが開発した strsr を用いて相対生存率を推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていないが、上皮内がんの生存率を算出することも重要との判断から、全がん(上皮内がん除く)で生存状況把握割合が 90%以上の施設のデータを用いて算出した。

#### (5) 公表の対象

令和 3 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、5 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

#### 参考資料

- 1) 全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

\* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日 2、当該腫瘍初診日、診断日 1、入院日の中で、2013、2014年の日付の項目を用いて作成した。

表 1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C700、C71、C722-C729、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※全がんの集計対象の部位分類であり、生存率集計はがん種別となっていることに留意

表 1-4 各生存率の集計対象

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157 (但し、8041-8045、8013 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌 (女)	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌 (未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌 (髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0,32.1,32.2,10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎癌	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9,66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣癌 (女)	C56	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

## II 2013-2014年5年生存率集計 結果概要

### 1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 751 施設のうち、524 施設(がん診療連携拠点病院等 394 施設、小児がん拠点 2 施設、都道府県推薦病院 124 施設、任意参加病院 4 施設)から 5 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 69.8%)。表 2-1-1 に 2014 年診断例の全登録数と集計対象を示す。なお、2013 年診断例については、2012-2013 年 5 年生存率報告書をご覧ください。

### 2. 集計対象

(1) 集計の対象(2014 年診断例)

#### ① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 456,709 例(60.8%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 147,248 例(19.6%)であり、全登録数の 80.4%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、522,546 例(69.5%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、534,713 例(71.2%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 221 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が 23.4%と最も多く、次いで 60 歳代が 19.5%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の合計 235 例を集計対象から除外した。

#### ② 追跡期間(日数)の確認

5 年予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

#### (2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、28.5%で、最も高かった施設は 100.0%であった。都道府県・施設別生存状況把握割合について図 2-1 に示した。以降の集計結果では、2014 年診断例で生存状況把握割合が 90%以上であった 415 施設と 2013 年診断例で同様に把握割合が 90%以上であった

施設を合わせて、合計 437 施設における登録例を集計対象とした。

### 3. 相対生存率集計対象者

2014 年診断例の全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 415 施設(がん診療連携拠点病院等 345 施設、小児がん拠点 2 施設、都道府県推薦病院 68 施設)、において集計対象例は、455,211 例であった。

表 2-1-1 2014 年診断例調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	109 施設	(%)	415 施設	(%)	524 施設	(%)
<b>全登録数</b>	112,108	100.0	639,342	100.0	751,450	100.0
<b>症例区分別登録数</b>						
1. 診断のみ	8,732	7.8	36,037	5.6	44,769	6.0
2. 自施設診断・自施設初回治療	72,245	64.4	384,464	60.1	456,709	60.8
3. 他施設診断・自施設初回治療	18,042	16.1	129,206	20.2	147,248	19.6
4. 初回治療開始後・再発	9,790	8.7	64,334	10.1	74,124	9.9
5. 剖検	29	0.0	287	0.0	316	0.0
6. 不明・その他	3,270	2.9	25,014	3.9	28,284	3.8
症例区分(2, 3)(再掲)	90,287	80.5	513,670	80.3	603,957	80.4
<b>症例区分 2, 3 のうち</b>						
良性	1,206	1.1	7,438	1.2	8,644	1.2
良性又は悪性の別不詳	592	0.5	3,229	0.5	3,821	0.5
上皮内癌	10,908	9.7	58,038	9.1	68,946	9.2
悪性新生物<腫瘍>	77,581	69.2	444,965	69.6	522,546	69.5
集計対象腫瘍*	79,336	70.8	455,377	71.2	534,713	71.2
<b>症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)</b>						
年齢 0~14 歳	214	0.2	1,476	0.2	1,690	0.2
15~39 歳	2,162	1.9	13,283	2.1	15,445	2.1
40 歳代	4,472	4.0	28,109	4.4	32,581	4.3
50 歳代	8,550	7.6	51,722	8.1	60,272	8.0
60 歳代	21,268	19.0	125,373	19.6	146,641	19.5
70 歳代	26,265	23.4	149,231	23.3	175,496	23.4
80-99 歳	16,405	14.6	86,183	13.5	102,588	13.7
100 歳以上	24	0.0	197	0.0	221	0.0
0~99 歳(再掲)	79,336	70.8	455,377	71.2	534,713	71.2
<b>除外対象(以下重複有)</b>						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	17	0.0	13	0.0	30	0.0
総合ステージ 0 期	52	0.0	153	0.0	205	0.0
<b>集計対象例</b>	79,267	70.7	455,211	71.2	534,478	71.1

\*症例区分 2, 3 のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系に発生した良性又は悪性又は悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数 (2014 年診断例)

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療 (症 例区分 2)	他施設診 断自施設 治療 (症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録割 合
総数		345	657,233	391,434	136,169	80.3
北海道	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター	集計対象	2302	1146	582	75.1
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1518	989	225	80.0
北海道	王子総合病院	集計対象	1087	805	123	85.4
北海道	市立釧路総合病院		1160	789	174	83.0
北海道	市立札幌病院	集計対象	1353	980	238	90.0
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1687	1300	239	91.2
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1513	906	244	76.0
北海道	市立函館病院	集計対象	1414	975	186	82.1
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院	集計対象	649	378	146	80.7
北海道	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1647	1175	260	87.1
北海道	札幌医科大学附属病院		2350	1106	608	72.9
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1663	1100	265	82.1
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	2123	1348	368	80.8
北海道	旭川医科大学病院		1749	945	487	81.9
北海道	市立旭川病院		859	632	129	88.6
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院	集計対象	956	771	94	90.5
青森	青森県立中央病院		2291	1362	525	82.4
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1490	929	373	87.4
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1945	1341	409	90.0
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	437	265	54	73.0
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2922	1314	999	79.2
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1270	752	305	83.2
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	851	453	180	74.4
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	518	333	54	74.7
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	1010	735	140	86.6
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	506	399	38	86.4
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	419	278	41	76.1
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	487	268	68	69.0
宮城	東北大学病院	集計対象	3409	1406	944	68.9
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	2006	1067	517	79.0
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1901	1282	252	80.7
宮城	仙台医療センター	集計対象	1812	1076	410	82.0
宮城	大崎市民病院	集計対象	1669	1201	248	86.8
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	998	770	126	89.8
宮城	東北医科薬科大学病院		805	543	78	77.1
宮城	みやぎ県南中核病院	集計対象	545	451	62	94.1
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1847	881	596	80.0
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院	集計対象	707	518	100	87.4
秋田	秋田県厚生農業協同組合 大曲厚生医療センター	集計対象	772	522	118	82.9
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院	集計対象	891	719	115	93.6
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	628	454	67	83.0
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1183	867	206	90.7
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院	集計対象	308	238	17	82.8
秋田	大館市立総合病院	集計対象	708	491	117	85.9
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会秋田厚生医療センター	集計対象	1063	721	168	83.6
山形	山形県立中央病院	集計対象	2189	1359	522	85.9
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	2055	924	682	78.2
山形	山形市立病院済生館	集計対象	1089	834	110	86.7
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	1054	778	193	92.1
山形	日本海総合病院	集計対象	1392	1149	174	95.0
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2215	1045	635	75.8
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1750	1177	347	87.1
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	集計対象	1325	884	186	80.8
福島	総合南東北病院	集計対象	2114	1078	502	74.7
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院		825	548	71	75.0
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1968	1206	480	85.7
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1306	853	168	78.2

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1725	1301	244	89.6
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1615	1215	208	88.1
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	931	684	140	88.5
茨城	友愛記念病院	集計対象	865	563	95	76.1
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	3198	1344	842	68.4
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1198	898	172	89.3
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	837	657	73	87.2
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院	集計対象	492	258	12	54.9
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2019	1092	561	81.9
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3829	2064	964	79.1
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1750	1368	157	87.1
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2542	1687	478	85.2
栃木	那須赤十字病院	集計対象	972	659	135	81.7
栃木	足利赤十字病院	集計対象	1242	922	164	87.4
群馬	伊勢崎市民病院	集計対象	1487	1006	207	81.6
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2203	1019	789	82.1
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3703	1504	1136	71.3
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	507	302	61	71.6
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	集計対象	1376	997	222	88.6
群馬	公立富岡総合病院	集計対象	911	593	139	80.4
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	801	584	52	79.4
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1528	1023	248	83.2
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1554	1113	249	87.6
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3926	1740	1178	74.3
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	633	480	134	97.0
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	899	563	111	75.0
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1102	801	142	85.6
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2415	1335	414	72.4
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1383	907	211	80.8
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4749	2408	1592	84.2
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1191	788	127	76.8
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象	1696	1204	151	79.9
埼玉	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	集計対象	849	598	88	80.8
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター	集計対象	2267	1192	578	78.1
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	集計対象	5883	2074	1820	66.2
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2253	1759	223	88.0
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2898	1821	628	84.5
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1384	967	157	81.2
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4131	1970	1127	75.0
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	集計対象	1202	848	177	85.3
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1639	1059	293	82.5
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	3592	1870	842	75.5
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	1190	786	128	76.8
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1308	939	106	79.9
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1754	1201	263	83.5
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	2096	1322	420	83.1
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1380	735	91	59.9
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1228	903	176	87.9
千葉	さんむ医療センター	集計対象	355	117	42	44.8
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	7661	2723	1853	59.7
東京	東京都立駒込病院	集計対象	5055	2223	1324	70.2
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1271	916	95	79.5
東京	N T T 東日本関東病院	集計対象	2169	1408	402	83.4
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2310	945	341	55.7
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2321	1380	359	74.9
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2289	1561	371	84.4
東京	がん研有明病院	集計対象	9167	3269	3012	68.5



都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設診 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3659	1915	830	75.0
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	2938	1724	593	78.9
東京	聖路加国際病院	集計対象	2528	1420	682	83.1
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2317	1349	418	76.3
東京	東京医科大学八王子医療センター	集計対象	1533	1015	227	81.0
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2783	1863	546	86.6
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	4193	2182	1048	77.0
東京	昭和大学病院	集計対象	2668	1566	617	81.8
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3716	1866	735	70.0
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2666	1533	729	84.8
東京	公立昭和病院	集計対象	1644	1124	266	84.5
東京	東京慈恵会医科大学付属病院	集計対象	3537	1894	815	76.6
東京	国家公務員共済組合連合会虎の門病院	集計対象	3840	1751	1049	72.9
東京	東邦大学医療センター大森病院	集計対象	2398	1646	305	81.4
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2260	1486	392	83.1
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院	集計対象	2959	1462	637	70.9
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1531	1064	187	81.7
東京	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	集計対象	1232	739	198	76.1
東京	東京女子医科大学東医療センター	集計対象	1023	738	219	93.5
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	4082	1803	1248	74.7
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2177	1542	404	89.4
神奈川	横浜州市立市民病院	集計対象	1779	1243	264	84.7
神奈川	小田原市立病院	集計対象	869	586	115	80.7
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	1128	584	77	58.6
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1170	785	116	77.0
神奈川	横浜市立大学附属病院	集計対象	2491	1164	742	76.5
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	3026	1653	769	80.0
神奈川	東海大学医学部付属病院	集計対象	3592	2097	752	79.3
神奈川	藤沢市民病院	集計対象	1357	919	255	86.5
神奈川	北里大学病院	集計対象	2259	1275	646	85.0
神奈川	横浜労災病院	集計対象	2112	1255	303	73.8
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	1979	1122	427	78.3
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1506	991	195	78.8
神奈川	大和市立病院	集計対象	1084	775	112	81.8
神奈川	独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院	集計対象	1058	734	122	80.9
神奈川	恩賜財団 済生会横浜市東部病院	集計対象	2099	1230	420	78.6
神奈川	横浜市立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2365	1468	663	90.1
神奈川	湘南鎌倉総合病院	集計対象	1687	1100	217	78.1
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3240	1810	984	86.2
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1425	1007	272	89.8
新潟	新潟市民病院	集計対象	1845	1289	389	90.9
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1795	1298	315	89.9
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院	集計対象	1760	1252	402	94.0
新潟	新潟大学医学部総合病院	集計対象	2334	1078	815	81.1
新潟	県立新発田病院	集計対象	1279	886	272	90.5
富山	富山県立中央病院	集計対象	2497	1683	498	87.3
富山	黒部市民病院	集計対象	673	510	58	84.4
富山	国立大学法人 富山大学附属病院	集計対象	1304	816	257	82.3
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1392	967	207	84.3
富山	市立砺波総合病院	集計対象	734	558	63	84.6
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2184	1141	480	74.2
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	815	659	70	89.4
石川	石川県立中央病院	集計対象	1770	1091	579	94.4
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1147	751	209	83.7
石川	国民健康保険小松市民病院	集計対象	825	539	122	80.1
福井	福井県立病院	集計対象	1682	1110	282	82.8
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1446	1000	279	88.5
福井	福井赤十字病院	集計対象	1212	897	157	87.0
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1320	737	387	85.2

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設診 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター	集計対象	169	105	23	75.7
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1958	1264	207	75.1
山梨	国立大学法人山梨大学医学部附属病院	集計対象	1892	1110	338	76.5
山梨	市立甲府病院	集計対象	687	465	82	79.6
長野	JA長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	2453	952	620	64.1
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2375	1058	657	72.2
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1349	931	186	82.8
長野	飯田市立病院	集計対象	1091	739	146	81.1
長野	長野市民病院	集計対象	1845	1271	441	92.8
長野	長野赤十字病院	集計対象	1782	1091	369	81.9
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1536	879	241	72.9
長野	伊那中央病院	集計対象	944	567	201	81.4
長野	独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター	集計対象	661	377	61	66.3
長野	長野県立木曾病院	集計対象	196	149	14	83.2
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合	集計対象	575	446	35	83.7
岐阜	岐阜市民病院	集計対象	1408	1068	131	85.2
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	集計対象	2242	1271	599	83.4
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	681	474	62	78.7
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1894	1334	360	89.4
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1577	982	266	79.1
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2360	1873	321	93.0
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	集計対象	1107	619	183	72.4
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6850	3003	2064	74.0
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2720	1789	594	87.6
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1640	1026	223	76.2
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1912	1251	410	86.9
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1372	986	194	86.0
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1397	1146	146	92.5
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1136	774	139	80.4
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1430	787	371	81.0
静岡	浜松医療センター	集計対象	1055	775	115	84.4
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1377	968	156	81.6
静岡	富士市立中央病院	集計対象	981	614	82	70.9
静岡	国際医療福祉大学熱海病院	集計対象	412	281	23	73.8
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3010	1129	1413	84.5
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	集計対象	1993	1512	224	87.1
愛知	海南病院	集計対象	1514	1001	161	76.8
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1819	1211	241	79.8
愛知	小牧市民病院	集計対象	1750	1294	237	87.5
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2348	1628	396	86.2
愛知	名古屋大学医学部附属病院	集計対象	3701	1712	1151	77.4
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院	集計対象	1393	1003	199	86.3
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1482	1079	238	88.9
愛知	公立陶生病院	集計対象	1201	927	105	85.9
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1566	1196	171	87.3
愛知	名古屋市立大学病院	集計対象	1805	1045	507	86.0
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	集計対象	2321	1662	264	83.0
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	集計対象	2264	1561	325	83.3
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2997	1676	904	86.1
愛知	愛知医科大学病院	集計対象	1772	1103	335	81.2
愛知	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	集計対象	1088	776	259	95.1
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1751	1222	311	87.5
三重	松阪中央総合病院	集計対象	782	485	115	76.7
三重	三重大学医学部附属病院	集計対象	2715	1333	564	69.9
三重	三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院	集計対象	1360	925	107	75.9
三重	市立四日市病院	集計対象	1897	1249	318	82.6
滋賀	市立長浜病院	集計対象	719	572	69	89.2
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1478	897	255	77.9
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1473	1132	189	89.7

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
滋賀	彦根市立病院	集計対象	736	566	47	83.3
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1417	768	430	84.5
京都	京都府立医科大学附属病院	集計対象	2695	1403	657	76.4
京都	京都桂病院	集計対象	1410	1142	152	91.8
京都	京都市立病院	集計対象	1528	1011	180	77.9
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1599	1240	196	89.8
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1768	1219	245	82.8
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	2012	1233	343	78.3
京都	市立福知山市民病院	集計対象	837	571	89	78.9
京都	京都岡本記念病院		586	369	39	69.6
京都	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院		589	467	23	83.2
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	2127	1450	323	83.4
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1379	978	148	81.7
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1155	926	97	88.6
大阪	市立豊中病院	集計対象	2075	1556	261	87.6
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3765	1665	1644	87.9
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	集計対象	2921	1692	689	81.5
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2531	1861	393	89.1
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	935	559	154	76.3
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1698	1216	280	88.1
大阪	大阪医科薬科大学病院	集計対象	2886	1501	940	84.6
大阪	近畿大学病院	集計対象	3384	1897	769	78.8
大阪	大阪市立大学医学部附属病院	集計対象	3400	1568	1174	80.6
大阪	国立病院機構大阪医療センター	集計対象	1543	880	336	78.8
大阪	堺市立総合医療センター	集計対象	1447	974	191	80.5
大阪	和泉市立総合医療センター	集計対象	466	245	65	66.5
大阪	八尾市立病院	集計対象	1060	766	193	90.5
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3883	1614	1308	75.3
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3478	1518	983	71.9
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2805	1626	592	79.1
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	2146	1301	426	80.5
兵庫	公立学校共済組合 近畿中央病院	集計対象	827	615	79	83.9
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1775	1132	445	88.8
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	551	411	31	80.2
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	1111	809	135	85.0
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	993	719	113	83.8
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2631	1409	613	76.9
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	428	230	62	68.2
兵庫	神戸市立西神戸医療センター	集計対象	1545	1006	215	79.0
兵庫	神鋼記念病院	集計対象	1155	772	306	93.3
兵庫	兵庫県立尼崎総合医療センター		1198	1061	133	99.7
兵庫	加古川中央市民病院	集計対象	858	527	97	72.7
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2688	1379	748	79.1
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1230	684	338	83.1
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2125	1770	241	94.6
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1438	927	254	82.1
奈良	市立奈良病院	集計対象	1090	747	103	78.0
奈良	南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター		214	168	15	85.5
和歌山	紀南病院	集計対象	740	493	96	79.6
和歌山	南和歌山医療センター		695	389	117	72.8
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2025	1525	271	88.7
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2709	1398	867	83.6
和歌山	橋本市立病院		584	429	51	82.2
和歌山	公立那賀病院	集計対象	655	422	67	74.7
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	554	390	56	80.5
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	843	704	22	86.1
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1724	1076	436	87.7
島根	松江市立病院	集計対象	829	540	122	79.9

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設診 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
島根	松江赤十字病院	集計対象	1306	997	162	88.7
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1506	918	370	85.5
島根	島根県立中央病院	集計対象	1250	964	144	88.6
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	726	482	103	80.6
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1551	995	290	82.8
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1201	824	147	80.8
岡山	岡山大学病院	集計対象	3210	1499	993	77.6
岡山	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3338	2359	458	84.4
岡山	津山中央病院	集計対象	1350	938	98	76.7
岡山	岡山医療センター	集計対象	1081	812	144	88.4
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1775	1061	361	80.1
岡山	金田病院	集計対象	150	73	(4-6)	52.7
広島	広島大学病院	集計対象	2913	1699	741	83.8
広島	県立広島病院	集計対象	1791	1134	326	81.5
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院	集計対象	3064	1964	695	86.8
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1343	1011	182	88.8
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1683	1069	211	76.1
広島	東広島医療センター	集計対象	946	524	102	66.2
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	676	454	161	91.0
広島	福山市民病院	集計対象	1870	1194	365	83.4
広島	市立三次中央病院	集計対象	796	618	89	88.8
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	964	604	186	82.0
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1418	952	216	82.4
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	671	443	60	75.0
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1399	979	234	86.7
山口	山口大学医学部附属病院	集計対象	1886	1035	522	82.6
山口	山口県済生会下関総合病院	集計対象	860	620	146	89.1
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1285	873	188	82.6
徳島	国立大学法人 徳島大学病院	集計対象	1913	1110	502	84.3
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1238	806	251	85.4
徳島	徳島市民病院	集計対象	731	486	109	81.4
香川	香川県立中央病院	集計対象	1554	964	316	82.4
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1399	965	242	86.3
香川	三豊総合病院	集計対象	1024	711	104	79.6
香川	高松赤十字病院	集計対象	1339	870	219	81.3
香川	香川大学医学部附属病院	集計対象	1602	863	406	79.2
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1151	773	163	81.3
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	2763	1336	796	77.2
愛媛	住友別子病院	集計対象	642	466	51	80.5
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	2018	824	609	71.0
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	2389	1443	394	76.9
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1612	1176	190	84.7
愛媛	社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	集計対象	752	412	93	67.2
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1598	952	451	87.8
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1555	922	469	89.5
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	636	374	86	72.3
福岡	久留米大学病院	集計対象	2872	1471	706	75.8
福岡	公立八女総合病院	集計対象	579	404	89	85.1
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	891	450	165	69.0
福岡	社会保険田川病院	集計対象	594	398	40	73.7
福岡	飯塚病院	集計対象	2193	1470	322	81.7
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	707	484	70	78.4
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2458	1502	572	84.4
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2644	1093	654	66.1
福岡	九州大学病院	集計対象	3992	1849	1099	73.8
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2220	1213	515	77.8
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1435	847	282	78.7
福岡	福岡大学病院	集計対象	2026	1105	517	80.1
福岡	聖マリア病院	集計対象	1230	785	149	75.9



都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設診 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	2013	1282	394	83.3
福岡	産業医科大学病院	集計対象	2027	1213	492	84.1
福岡	戸畑共立病院	集計対象	888	379	145	59.0
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	1289	768	180	73.5
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	集計対象	1595	880	271	72.2
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1695	834	514	79.5
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	795	494	88	73.2
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	839	507	171	80.8
長崎	日本赤十字社 長崎原爆病院	集計対象	1048	766	186	90.8
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1898	1298	351	86.9
長崎	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	集計対象	1592	1000	332	83.7
長崎	長崎みなとメディカルセンター		1093	672	147	74.9
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2450	1222	817	83.2
長崎	長崎県島原病院	集計対象	660	485	102	88.9
熊本	熊本大学病院	集計対象	3000	1458	914	79.1
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	624	417	97	82.4
熊本	人吉医療センター	集計対象	790	462	94	70.4
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1848	1141	343	80.3
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1576	772	328	69.8
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1763	1043	359	79.5
熊本	荒尾市民病院	集計対象	443	295	51	78.1
大分	大分県立病院	集計対象	1432	923	308	86.0
大分	大分赤十字病院	集計対象	903	540	197	81.6
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1634	776	510	78.7
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		800	589	142	91.4
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	321	157	49	64.2
大分	中津市立中津市民病院	集計対象	677	462	129	87.3
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1143	743	201	82.6
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	778	475	172	83.2
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1521	695	400	72.0
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2131	840	799	76.9
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	917	451	232	74.5
鹿児島	鹿児島県立薩南病院		237	137	43	75.9
鹿児島	済生会川内病院		641	269	130	62.2
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	423	200	68	63.4
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	463	160	113	59.0
鹿児島	鹿児島市立病院		1189	634	276	76.5
鹿児島	公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院	集計対象	753	348	217	75.0
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	331	176	55	69.8
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院	集計対象	964	188	528	74.3
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	901	531	191	80.1
沖縄	北部地区医師会病医院		293	199	15	73.0
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1036	627	161	76.1
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院	集計対象	1531	682	474	75.5
沖縄	沖縄県立宮古病院		218	133	14	67.4

表 2-2-2 都道府県推薦病院他調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数 (2014 年診断例)

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療 (症 例区分 2)	他施設診 断自施設 治療 (症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録割 合	
総数			70	94,217	65,275	11,048	81.0
北海道	国家公務員共済組合連合会 斗南病院			925	562	239	86.6
北海道	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院			419	263	113	89.7
北海道	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院			653	585	32	94.5
北海道	苫小牧市立病院			617	486	21	82.2
北海道	旭川赤十字病院			913	764	88	93.3
北海道	J A 北海道厚生連遠軽厚生病院	集計対象		338	208	18	66.9
北海道	深川市立病院			251	138	17	61.8
青森	三沢市立三沢病院			493	291	88	76.9
宮城	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院			1600	1096	287	86.4
秋田	中通総合病院	集計対象		602	475	80	92.2
秋田	市立秋田総合病院	集計対象		885	608	162	87.0
山形	鶴岡市立荘内病院	集計対象		858	657	143	93.2
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象		1077	734	177	84.6
福島	一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院	集計対象		577	373	74	77.5
福島	会津中央病院	集計対象		698	540	57	85.5
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会茨城西南医療センター病院			617	407	49	73.9
茨城	水戸赤十字病院			1258	943	158	87.5
茨城	水戸済生会総合病院			884	585	77	74.9
群馬	国立病院機構沼田病院	集計対象		275	148	39	68.0
群馬	利根保健生活協同組合 利根中央病院			428	375	11	90.2
群馬	群馬中央病院	集計対象		483	477	0	98.8
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象		688	388	158	79.4
埼玉	埼玉石心会病院	集計対象		955	535	71	63.5
埼玉	秀和総合病院	集計対象		530	425	40	87.7
埼玉	埼玉協同病院			886	534	61	67.2
埼玉	社会医療法人さいたま市民医療センター			722	460	102	77.8
千葉	医療法人沖繩徳洲会千葉徳洲会病院			838	456	96	65.9
千葉	千葉市立海浜病院			506	304	105	80.8
千葉	聖隷佐倉市民病院			233	185	16	86.3
東京	東京女子医科大学病院			3164	1468	858	73.5
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象		918	578	146	78.9
東京	国家公務員共済組合連合会 立川病院			1289	727	165	69.2
東京	東京都立大塚病院	集計対象		614	406	60	75.9
東京	国際医療福祉大学三田病院			1309	577	206	59.8
東京	国家公務員共済組合連合会東京共済病院	集計対象		494	357	62	84.8
東京	JR 東京総合病院			826	537	84	75.2
東京	東京都済生会中央病院	集計対象		1126	796	100	79.6
東京	社会福祉法人三井記念病院	集計対象		1590	1001	181	74.3
東京	河北総合病院			978	586	55	65.5
東京	東大和病院	集計対象		675	459	44	74.5
東京	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター			896	688	61	83.6
東京	国立成育医療研究センター	集計対象		64	30	20	78.1
東京	東京慈恵会医科大学附属第三病院			1302	924	165	83.6
東京	公立学校共済組合関東中央病院			827	618	87	85.2
神奈川	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院	集計対象		719	566	51	85.8
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象		1380	1149	125	92.3
神奈川	一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院			939	662	96	80.7
神奈川	恩賜財団済生会横浜市南部病院			1321	910	191	83.3
神奈川	神奈川県立こども医療センター	集計対象		67	46	(1-3)	70.1
神奈川	平塚市民病院	集計対象		806	641	73	88.6
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	集計対象		314	239	14	80.6
富山	高岡市民病院			684	555	37	86.5
富山	富山赤十字病院			893	716	73	88.4
富山	富山県済生会高岡病院			200	140	12	76.0
石川	医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院			462	165	76	52.2
石川	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院	集計対象		487	340	42	78.4
石川	独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院	集計対象		261	197	12	80.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療（症 例区分2）	他施設診 断自施設 治療（症 例区分3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
石川	芳珠記念病院	集計対象	259	205	21	87.3
石川	公立松任石川中央病院		562	493	54	97.3
石川	石川県済生会金沢病院		479	209	46	53.2
福井	市立敦賀病院	集計対象	378	270	13	74.9
岐阜	松波総合病院	集計対象	1100	966	40	91.5
岐阜	朝日大学病院	集計対象	426	322	36	84.0
静岡	沼津市立病院	集計対象	1025	664	76	72.2
静岡	焼津市立総合病院	集計対象	919	638	116	82.0
静岡	富士宮市立病院	集計対象	619	416	53	75.8
静岡	国立病院機構 静岡医療センター		539	306	42	64.6
静岡	島田市立総合医療センター		961	771	49	85.3
愛知	春日井市民病院	集計対象	1366	1039	97	83.2
三重	済生会松阪総合病院		849	537	57	70.0
三重	松阪市民病院		530	481	0	90.8
三重	地方独立行政法人桑名市総合医療センター 桑名西医療センター		270	159	37	72.6
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院	集計対象	690	378	80	66.4
滋賀	近江八幡市立総合医療センター	集計対象	678	503	85	86.7
滋賀	済生会滋賀県病院		766	561	69	82.2
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院		352	287	15	85.8
大阪	高槻赤十字病院	集計対象	863	496	64	64.9
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	集計対象	796	587	90	85.1
大阪	大阪府済生会千里病院		855	669	92	89.0
大阪	箕面市立病院	集計対象	817	612	82	84.9
大阪	パナソニック健康保険組合 松下記念病院	集計対象	855	660	87	87.4
大阪	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院	集計対象	995	694	67	76.5
大阪	社会医療法人生長会ベルランド総合病院		1260	949	101	83.3
大阪	社会医療法人 生長会 府中病院		962	727	147	90.9
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	954	733	78	85.0
大阪	関西電力病院		758	560	99	86.9
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	854	700	93	92.9
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院	集計対象	1761	1206	397	91.0
大阪	公益財団法人日本生命済生会附属日生病院		405	299	29	81.0
大阪	関西医科大学総合医療センター	集計対象	1092	671	208	80.5
大阪	社会医療法人美杉会 佐藤病院		230	151	30	78.7
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院	集計対象	814	675	28	86.4
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院	集計対象	451	358	41	88.5
大阪	PL 病院		459	355	45	87.1
大阪	国家公務員共済組合連合会 大手前病院		573	397	68	81.2
大阪	財団法人田附興風会 北野病院	集計対象	1752	1242	232	84.1
大阪	一般財団法人住友病院		734	686	(7-9)	94.6
大阪	社会医療法人愛仁会 千船病院		321	276	12	89.7
奈良	国保中央病院		566	134	(7-9)	25.3
奈良	大和高田市立病院	集計対象	607	489	40	87.1
奈良	済生会中和病院	集計対象	516	377	59	84.5
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	集計対象	577	376	61	75.7
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	677	537	74	90.3
鳥取	鳥取赤十字病院		655	499	53	84.3
鳥取	医療法人 十字会 野島病院		194	163	14	91.2
島根	松江医療センター	集計対象	103	95	(1-3)	95.1
岡山	岡山市立市民病院	集計対象	508	347	72	82.5
岡山	倉敷成人病センター	集計対象	671	474	127	89.6
岡山	川崎医科大学総合医療センター	集計対象	545	361	87	82.2
広島	国家公務員共済組合連合会呉共済病院	集計対象	848	681	77	89.4
広島	公立学校共済組合中国中央病院	集計対象	673	562	89	96.7
山口	総合病院山口赤十字病院		595	429	66	83.2
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター	集計対象	476	396	49	93.5
高知	高知赤十字病院		867	620	126	86.0
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院		1021	690	133	80.6

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診 断自施設 治療（症 例区分 2）	他施設診 断自施設 治療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分 2, 3） 登録割 合
長崎	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	集計対象	638	393	99	77.1
熊本	独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター		239	151	39	79.5
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	988	653	144	80.7
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	255	189	38	89.0
熊本	天草地域医療センター	集計対象	365	239	54	80.3
熊本	熊本地域医療センター		522	324	95	80.3
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター	集計対象	564	396	69	82.4
鹿児島	医療法人徳洲会大隅鹿屋病院	集計対象	226	135	29	72.6
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院	集計対象	776	431	206	82.1
鹿児島	今村総合病院		596	278	122	67.1
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1055	841	59	85.3
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	660	399	120	78.6
沖縄	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	集計対象	210	157	(4-6)	76.7
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	531	364	53	78.5
沖縄	国立病院機構 沖縄病院	集計対象	350	107	43	42.9



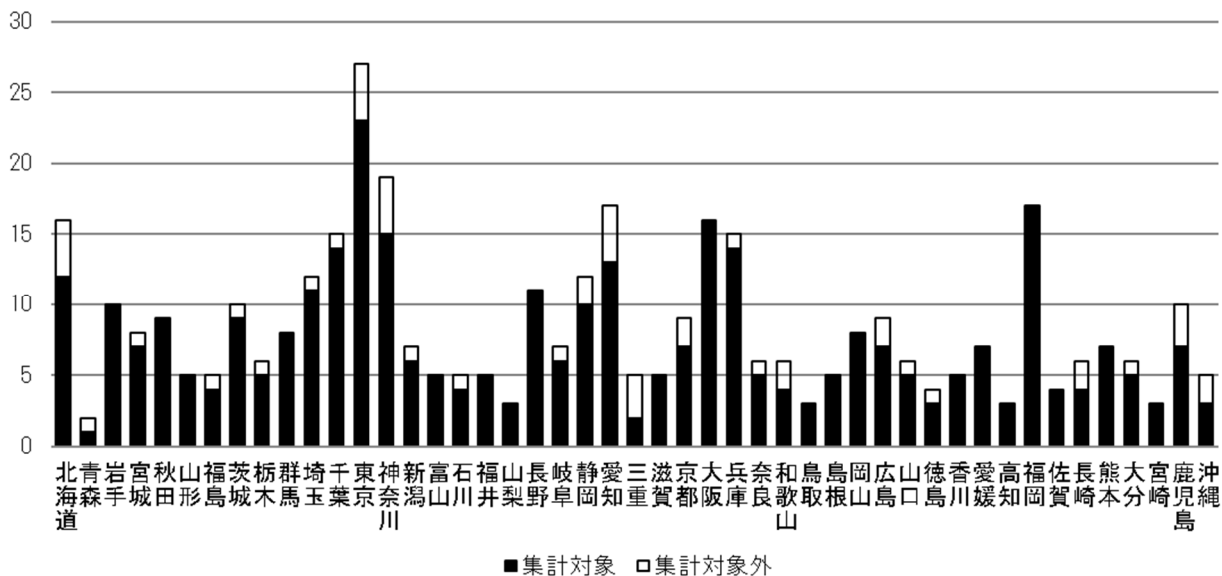


図 2-1 がん診療連携拠点病院等における都道府県・施設別生存状況把握割合 (都道府県推薦病院を除く)

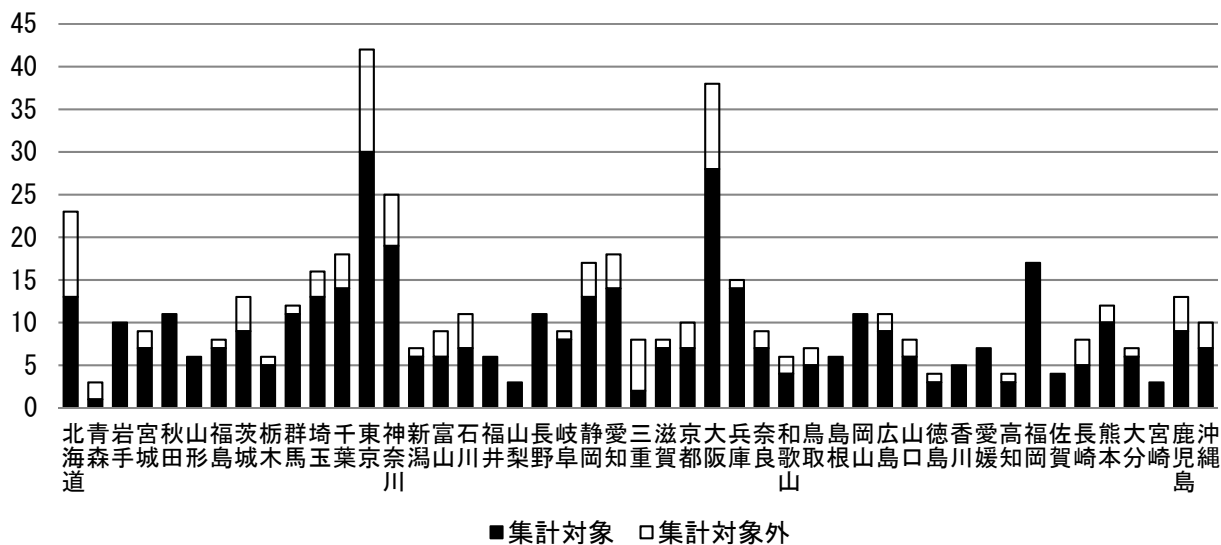


図 2-1 参考 調査参加施設における都道府県・施設別生存状況把握割合

### Ⅲ 2013-2014 年 5 年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

#### 1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	437	875,381	350,389	98.1	68.1

#### (0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録 5 年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

#### (1) 生存状況把握割合

対象者は 875,381 例で、その内 5 年以内に死亡していた者は 350,389 例、打ち切りが 16,450 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.1%であった。

#### (2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表 3-1-1 に示す。男性が 57.9%、女性が 42.1%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代、70 歳代で全体の 60.4%を占めた。60.3%の対象者に観血的治療が実施されており、53.5%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、他疾患経過観察中が 30.4%であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	507,105	100.0	368,276	100.0	875,381	100.0
拠点病院等	469,904	92.7	342,247	92.9	812,151	92.8
都道府県推薦病院他	37,201	7.3	26,029	7.1	63,230	7.2
年齢						
平均年齢(SD)	69.5	11.7	66.1	15.0	68.1	13.3
0-14歳	1,552	0.3	1,315	0.4	2,867	0.3
15-39歳	8,924	1.8	17,189	4.7	26,113	3.0
40歳代	16,314	3.2	37,352	10.1	53,666	6.1
50歳代	48,369	9.5	51,922	14.1	100,291	11.5
60歳代	152,423	30.1	90,872	24.7	243,295	27.8
70歳代	187,049	36.9	98,626	26.8	285,675	32.6
80歳以上	92,474	18.2	71,000	19.3	163,474	18.7
観血的治療						
有	276,582	54.5	251,339	68.2	527,921	60.3
原発巣・治癒切除	244,547	48.2	223,919	60.8	468,466	53.5
原発巣・非治癒切除	24,337	4.8	20,239	5.5	44,576	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	7,698	1.5	7,181	1.9	14,879	1.7
無	230,523	45.5	116,937	31.8	347,460	39.7
発見経緯						
がん検診	34,102	6.7	32,121	8.7	66,223	7.6
健康診断・人間ドック	45,640	9.0	23,342	6.3	68,982	7.9
他疾患経過観察中	172,658	34.0	93,595	25.4	266,253	30.4
その他・不明	254,705	50.2	219,218	59.5	473,923	54.1
部位						
口腔咽頭	17,733	3.5	6,945	1.9	24,678	2.8
食道	23,878	4.7	4,117	1.1	27,995	3.2
胃	87,374	17.2	37,190	10.1	124,564	14.2
結腸	38,967	7.7	32,562	8.8	71,529	8.2
直腸	25,645	5.1	14,048	3.8	39,693	4.5
大腸(再掲)	64,612	12.7	46,610	12.7	111,222	12.7
肝臓	24,256	4.8	10,637	2.9	34,893	4.0
胆嚢胆管	10,114	2.0	8,061	2.2	18,175	2.1
膵臓	17,034	3.4	13,866	3.8	30,900	3.5
喉頭	6,591	1.3	468	0.1	7,059	0.8
肺	75,385	14.9	34,854	9.5	110,239	12.6
骨軟部	2,550	0.5	1,956	0.5	4,506	0.5
皮膚	12,055	2.4	11,425	3.1	23,480	2.7
乳房	461	0.1	76,795	20.9	77,256	8.8
子宮頸部	-		13,615	3.7	13,615	1.6
子宮体部	-		17,674	4.8	17,674	2.0
子宮	-		32	0.0	32	0.0
卵巣	-		11,061	3.0	11,061	1.3
前立腺	70,897	14.0	-		70,897	8.1
膀胱	12,979	2.6	3,927	1.1	16,906	1.9
腎尿路	18,103	3.6	7,979	2.2	26,082	3.0
脳神経	9,285	1.8	12,576	3.4	21,861	2.5
甲状腺	4,103	0.8	11,125	3.0	15,228	1.7
悪性リンパ腫	17,610	3.5	15,071	4.1	32,681	3.7
多発性骨髄腫	3,793	0.7	3,095	0.8	6,888	0.8
白血病	7,434	1.5	5,054	1.4	12,488	1.4
その他の血液	7,054	1.4	4,135	1.1	11,189	1.3
その他	13,804	2.7	10,008	2.7	23,812	2.7

## (3)5年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及び相対生存率を示す。年齢が高いほど実測生存率と相対生存率との乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	54.8	64.3	64.1	64.4	66.4	71.8	71.6	72.0	59.7	67.5	67.4	67.6
拠点病院等	55.1	64.5	64.3	64.7	66.7	72.07	71.9	72.25	60.0	67.7	67.6	67.9
都道府県推薦病院	51.6	61.6	61.0	62.2	61.8	67.9	67.2	68.6	55.8	64.2	63.8	64.7
年齢												
0-14 歳	83.5	83.6	81.6	85.3	85.0	85.0	83.0	86.9	84.2	84.2	82.9	85.5
15-39 歳	79.8	80.1	79.3	81.0	86.4	86.6	86.0	87.1	84.1	84.4	83.9	84.8
40 歳代	71.7	72.4	71.7	73.1	86.1	86.6	86.2	86.9	81.7	82.3	82.0	82.6
50 歳代	66.3	68.2	67.7	68.6	79.6	80.6	80.2	80.9	73.2	74.6	74.3	74.9
60 歳代	61.8	66.2	66.0	66.5	72.2	74.2	73.8	74.5	65.7	69.2	69.0	69.4
70 歳代	54.2	64.2	64.0	64.5	62.1	67.2	66.9	67.5	56.9	65.3	65.1	65.5
80 歳以上	32.6	54.5	54.0	55.0	39.4	55.4	54.9	55.9	35.5	54.9	54.6	55.3
観血的治療												
有	71.2	82.6	82.4	82.8	81.5	87.6	87.4	87.7	76.1	85.0	84.9	85.1
原発巣・治癒切除	74.2	86.1	85.9	86.3	84.6	90.9	90.7	91.1	79.2	88.4	88.3	88.6
原発巣・非治癒切除	45.1	51.7	51.0	52.4	51.6	55.0	54.3	55.8	48.0	53.2	52.7	53.7
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	59.9	69.7	68.4	71.0	70.8	75.6	74.5	76.7	65.2	72.6	71.7	73.5
無	35.1	42.0	41.7	42.2	33.5	37.1	36.8	37.4	34.5	40.3	40.1	40.5

## 2. 胃がん(胃癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	435	120,740	45,365	98.0	71.0
I期	433	76,109	13,455	97.6	71.1
II期	432	10,931	4,342	98.4	71.2
III期	431	12,389	7,741	98.7	70.9
IV期	434	19,519	18,276	99.0	70.1

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象者は、120,740例で、5年以内に死亡していた者は45,365例、打ち切りが2,378例で、生存状況把握割合は、全体で98.0%であった。

70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代・70歳代で全体の約6割以上を占めた。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が63.0%、次いでIV期が16.2%を占めた。80.2%において観血的治療が実施されており、74.5%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が33.3%であった。

## (2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表3-2-1に示す。性別にみると、男性が7割以上を占めた。診断時の年齢は、

表3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	85,317	100.0	35,423	100.0	120,740	100.0
拠点病院等	78,402	91.9	32,478	91.7	110,880	91.8
都道府県推薦病院	6,915	8.1	2,945	8.3	9,860	8.2
年齢						
平均年齢 (SD)	70.9	9.9	71.3	12.0	71.0	10.5
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	539	0.6	626	1.8	1,165	1.0
40歳代	1,828	2.1	1,401	4.0	3,229	2.7
50歳代	7,344	8.6	3,177	9.0	10,521	8.7
60歳代	25,438	29.8	8,530	24.1	33,968	28.1
70歳代	33,579	39.4	12,245	34.6	45,824	38.0
80歳以上	16,588	19.4	9,442	26.7	26,030	21.6
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	54,571	64.0	21,538	60.8	76,109	63.0
II期	7,486	8.8	3,445	9.7	10,931	9.1
III期	8,541	10.0	3,848	10.9	12,389	10.3
IV期	13,542	15.9	5,977	16.9	19,519	16.2
不詳	1,177	1.4	615	1.7	1,792	1.5
観血的治療						
有	68,742	80.6	28,094	79.3	96,836	80.2
原発巣・治癒切除	63,988	75.0	26,014	73.4	90,002	74.5
原発巣・非治癒切除	3,963	4.6	1,746	4.9	5,709	4.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	791	0.9	334	0.9	1,125	0.9
無	16,575	19.4	7,329	20.7	23,904	19.8
発見経緯						
がん検診	8,356	9.8	3,296	9.3	11,652	9.7
健康診断・人間ドック	10,755	12.6	3,335	9.4	14,090	11.7
他疾患経過観察中	29,779	34.9	10,400	29.4	40,179	33.3
その他・不明	36,427	42.7	18,392	51.9	54,819	45.4

## (3)5年生存率

男女別にみた5年相対生存率はほぼ同様であった。年代別にみると、80歳以上では相対生存率と実測生存率の差が広がる傾向があった。また、観血治療を受けた者では、相対生存率は全体で87.6%であった。

表 3-2-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.2	72.6	72.2	73.0	64.5	71.9	71.3	72.4	62.1	72.4	72.1	72.7
拠点病院等	61.5	73.0	72.6	73.4	65.1	72.4	71.8	73.0	62.6	72.8	72.5	73.2
都道府県推薦病院	56.9	68.4	67.0	69.8	57.7	65.6	63.5	67.6	57.2	67.5	66.4	68.7
年齢												
0-39歳	63.5	63.8	59.5	67.7	59.1	59.3	55.3	63.0	61.1	61.3	58.4	64.1
40歳代	73.4	74.1	72.0	76.1	69.2	69.6	67.1	72.0	71.6	72.2	70.6	73.7
50歳代	73.6	75.7	74.6	76.7	73.7	74.6	73.0	76.2	73.6	75.4	74.5	76.2
60歳代	69.4	74.4	73.8	75.0	72.2	74.3	73.3	75.3	70.1	74.4	73.8	74.9
70歳代	61.7	73.3	72.7	73.9	68.9	74.7	73.8	75.6	63.6	73.7	73.2	74.2
80歳以上	40.4	67.0	65.7	68.2	48.2	66.1	64.7	67.5	43.2	66.7	65.7	67.6
UICC TNM 総合ステージ												
I期	80.2	95.5	95.1	95.9	86.9	97.0	96.5	97.5	82.1	96.0	95.6	96.3
II期	58.4	69.1	67.8	70.5	63.5	70.6	68.7	72.3	60.0	69.6	68.5	70.7
III期	36.1	41.9	40.7	43.1	39.1	43.0	41.3	44.7	37.0	42.3	41.3	43.2
IV期	5.6	6.5	6.0	6.9	5.4	5.8	5.2	6.4	5.5	6.2	5.9	6.6
不詳	11.9	16.2	13.7	18.8	11.8	15.7	12.4	19.3	11.9	16.0	14.0	18.1
観血的治療												
有	74.1	87.6	87.2	88.0	79.2	87.7	87.1	88.2	75.6	87.6	87.3	87.9
原発巣・治癒切除	76.9	90.7	90.3	91.1	82.7	91.4	90.9	91.9	78.6	90.9	90.6	91.3
原発巣・非治癒切除	32.6	39.8	38.1	41.6	31.0	35.2	32.8	37.7	32.1	38.4	36.9	39.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	56.4	68.9	64.5	73.0	58.3	65.6	59.4	71.4	57.0	67.9	64.4	71.3
無	7.0	8.9	8.4	9.4	7.5	9.1	8.4	9.9	7.2	9.0	8.6	9.4

## 3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)

## 大腸がん(大腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	434	107,968	39,365	98.2	69.9
0期※	433	40,669	5,280	96.1	68.0
I期	433	28,888	4,948	97.8	69.5
II期	432	28,127	6,858	98.2	71.4
III期	433	28,305	8,909	98.2	69.1
IV期	433	21,065	17,351	98.7	68.9

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象 107,968 例のうち、5 年以内に死亡していた者は 39,365 例、打ち切りが 1,966 例で、全体として生存状況把握割合は 98.2%であった。

年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III期ともに 26%前後にばらついていた。86.5%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.7%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 24.0%、がん検診が 10.3%、健康診断・人間ドックが 8.1%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 58.2%を占めた。診断時の

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	62,802	100.0	45,166	100.0	107,968	100.0
拠点病院等	56,600	90.1	40,703	90.1	97,303	90.1
都道府県推薦病院	6,202	9.9	4,463	9.9	10,665	9.9
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3	11.0	70.7	12.4	69.9	11.6
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	762	1.2	694	1.5	1,456	1.3
40 歳代	2,386	3.8	2,096	4.6	4,482	4.2
50 歳代	7,131	11.4	4,982	11.0	12,113	11.2
60 歳代	19,510	31.1	11,308	25.0	30,818	28.5
70 歳代	21,853	34.8	14,313	31.7	36,166	33.5
80 歳以上	11,158	17.8	11,772	26.1	22,930	21.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	26,628	-	14,041	-	40,669	-
I期	17,898	28.5	10,990	24.3	28,888	26.8
II期	16,053	25.6	12,074	26.7	28,127	26.1
III期	15,852	25.2	12,453	27.6	28,305	26.2
IV期	12,133	19.3	8,932	19.8	21,065	19.5
不詳	866	1.4	717	1.6	1,583	1.5
観血的治療						
有	54,246	86.4	39,139	86.7	93,385	86.5
原発巣・治癒切除	48,798	77.7	35,143	77.8	83,941	77.7
原発巣・非治癒切除	4,691	7.5	3,459	7.7	8,150	7.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	757	1.2	537	1.2	1,294	1.2
無	8,556	13.6	6,027	13.3	14,583	13.5
発見経緯						
がん検診	6,306	10.0	4,775	10.6	11,081	10.3
健康診断・人間ドック	5,536	8.8	3,244	7.2	8,780	8.1
他疾患経過観察中	15,951	25.4	9,910	21.9	25,861	24.0
その他・不明	35,009	55.7	27,237	60.3	62,246	57.7

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-3①-2に示す。5年相対生存率は、男女ともほぼ同様であり全体では約73%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期では94.5%、II期では88.4%であった。観血的治療を受けたものは、相対生存率は82.0%であり、原発巣・治癒切除例においては87.1%であった。

表3-3①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.8	72.4	72.0	72.9	65.3	72.6	72.2	73.1	63.3	72.5	72.2	72.8
拠点病院等	57.7	65.6	63.5	67.6	65.5	72.8	72.3	73.3	63.5	72.6	72.3	73.0
都道府県推薦病院	60.5	71.6	70.1	73.0	63.0	71.3	69.7	72.9	61.5	71.5	70.4	72.5
年齢												
0-39歳	70.5	70.8	67.4	73.9	73.0	73.2	69.7	76.4	71.7	71.9	69.5	74.2
40歳代	75.0	75.8	74.0	77.6	74.9	75.3	73.4	77.1	75.0	75.6	74.3	76.9
50歳代	73.4	75.4	74.3	76.5	75.5	76.4	75.2	77.6	74.2	75.8	75.0	76.6
60歳代	69.7	74.6	73.9	75.3	74.9	77.0	76.2	77.8	71.6	75.5	74.9	76.0
70歳代	60.7	71.9	71.1	72.7	68.5	74.3	73.4	75.1	63.8	72.9	72.3	73.4
80歳以上	39.5	66.8	65.2	68.3	45.4	63.9	62.6	65.1	42.5	65.3	64.3	66.2
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	85.0	97.4	96.9	97.9	90.2	97.8	97.2	98.3	86.8	97.6	97.2	97.9
I期	80.0	93.5	92.8	94.2	87.1	96.0	95.3	96.6	82.7	94.5	94.0	95.0
II期	73.2	87.7	86.9	88.5	78.5	89.4	88.6	90.2	75.5	88.4	87.8	89.0
III期	66.3	76.7	75.8	77.5	70.8	78.1	77.2	79.0	68.3	77.3	76.7	78.0
IV期	17.1	19.3	18.5	20.1	16.5	17.8	17.0	18.7	16.8	18.7	18.1	19.2
不詳	19.0	24.0	20.8	27.4	14.3	18.5	15.3	22.0	16.9	21.5	19.2	24.0
観血的治療												
有	70.1	81.9	81.5	82.4	74.0	82.1	81.6	82.6	71.7	82.0	81.7	82.3
原発巣・治癒切除	74.2	86.9	86.4	87.4	78.8	87.4	87.0	87.9	76.1	87.1	86.8	87.5
原発巣・非治癒切除	28.7	33.0	31.5	34.5	28.4	31.2	29.6	32.9	28.6	32.2	31.1	33.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	58.2	66.8	62.7	70.8	54.9	60.9	56.0	65.4	56.8	64.3	61.2	67.4
無	9.2	10.8	10.1	11.5	7.6	8.9	8.1	9.7	8.5	10.0	9.5	10.5

\*全体集計には含まれていない



## 結腸がん(結腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	434	70,509	26,231	98.1	71.1
0期※	433	30,085	4,034	96.1	68.3
I期	433	18,753	3,344	97.7	70.4
II期	432	19,641	4,898	98.1	72.5
III期	433	17,320	5,486	98.2	70.6
IV期	432	13,731	11,609	98.8	70.1

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象数は、70,509例、うち死亡数が26,231例、打ち切り数が1,309例で生存状況把握割合は98.1%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-3②-1に示す。男性が約55%、女性が約45%を占め、平均年齢は71.1歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I～III期が約25%前後であった。約88%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表3-3②-1 結腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	38,494	100.0	32,015	100.0	70,509	100.0
拠点病院等	34,626	90.0	28,812	90.0	63,438	90.0
都道府県推薦病院	3,868	10.0	3,203	10.0	7,071	10.0
年齢						
平均年齢 (SD)	70.6	10.8	71.8	12.1	71.1	11.4
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	422	1.1	424	1.3	846	1.2
40歳代	1,172	3.0	1,245	3.9	2,417	3.4
50歳代	3,562	9.3	3,039	9.5	6,601	9.4
60歳代	11,027	28.6	7,546	23.6	18,573	26.3
70歳代	14,258	37.0	10,521	32.9	24,779	35.1
80歳以上	8,051	20.9	9,240	28.9	17,291	24.5
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	19,642	-	10,443	-	30,085	-
I期	11,312	29.4	7,441	23.2	18,753	26.6
II期	10,539	27.4	9,102	28.4	19,641	27.9
III期	8,809	22.9	8,511	26.6	17,320	24.6
IV期	7,290	18.9	6,441	20.1	13,731	19.5
不詳	544	1.4	520	1.6	1,064	1.5
観血的治療						
有	33,721	87.6	27,940	87.3	61,661	87.5
原発巣・治癒切除	30,382	78.9	25,053	78.3	55,435	78.6
原発巣・非治癒切除	2,909	7.6	2,508	7.8	5,417	7.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	430	1.1	379	1.2	809	1.1
無	4,773	12.4	4,075	12.7	8,848	12.5
発見経緯						
がん検診	3,966	10.3	3,605	11.3	7,571	10.7
健康診断・人間ドック	3,447	9.0	2,381	7.4	5,828	8.3
他疾患経過観察中	11,492	29.9	7,902	24.7	19,394	27.5
その他・不明	19,589	50.9	18,127	56.6	37,716	53.5

\*全体集計には含まれていない

## (3)5年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 5 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期、II 期では相対生存率は 90%前後の数値であった。

表 3-3②-2 結腸 属性別 5 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.1	72.8	72.2	73.4	64.3	72.3	71.7	72.9	62.5	72.6	72.2	73.0
拠点病院等	61.1	72.8	72.2	73.4	64.5	72.5	71.9	73.1	62.7	72.7	72.2	73.1
都道府県推薦病院	60.4	72.9	71.0	74.8	62.1	70.9	68.9	72.8	61.1	72.0	70.6	73.3
年齢												
0-39 歳	69.7	70.0	65.4	74.2	73.0	73.2	68.6	77.2	71.4	71.6	68.4	74.5
40 歳代	73.9	74.7	72.0	77.2	74.3	74.7	72.1	77.1	74.1	74.7	72.9	76.4
50 歳代	73.6	75.7	74.1	77.1	73.5	74.4	72.8	76.0	73.5	75.1	74.0	76.2
60 歳代	70.3	75.3	74.4	76.2	74.8	77.0	76.0	78.0	72.2	76.0	75.3	76.7
70 歳代	61.3	72.7	71.7	73.6	68.6	74.4	73.4	75.4	64.4	73.4	72.7	74.1
80 歳以上	40.1	68.1	66.3	69.9	45.9	64.7	63.3	66.2	43.2	66.3	65.1	67.4
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	84.4	97.2	96.6	97.8	89.9	97.6	97.0	98.2	86.3	97.4	96.9	97.8
I 期	79.1	93.5	92.6	94.4	86.4	95.9	95.0	96.8	82.0	94.5	93.8	95.1
II 期	72.0	88.1	87.0	89.1	78.3	90.0	89.0	91.0	74.9	89.0	88.2	89.7
III 期	66.0	78.0	76.8	79.2	70.2	78.4	77.3	79.5	68.1	78.2	77.4	79.0
IV 期	14.5	16.6	15.7	17.6	15.0	16.3	15.4	17.3	14.8	16.5	15.8	17.2
不詳	17.4	22.3	18.4	26.6	12.6	16.8	13.2	20.9	15.0	19.7	16.9	22.6
観血的治療												
有	68.7	81.8	81.2	82.4	72.8	81.5	81.0	82.1	70.6	81.7	81.3	82.1
原発巣・治癒切除	73.1	87.1	86.5	87.7	77.8	87.3	86.7	87.8	75.2	87.2	86.8	87.6
原発巣・非治癒切除	25.3	29.4	27.6	31.3	25.4	28.2	26.3	30.1	25.3	28.8	27.5	30.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	56.6	66.3	60.6	71.6	49.9	56.7	50.8	62.3	53.5	61.7	57.7	65.6
無	6.6	8.0	7.1	8.9	5.5	6.6	5.8	7.5	6.1	7.3	6.7	8.0

\*全体集計には含まれていない

## 直腸がん(直腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	433	37,459	13,134	98.2	67.5
0期*	429	10,584	1,246	96.1	67.0
I期	431	10,135	1,604	98.0	67.7
II期	429	8,486	1,960	98.4	68.8
III期	432	10,985	3,423	98.3	66.6
IV期	433	7,334	5,742	98.4	66.6

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象数は、37,459例、うち死亡数が13,134例、打ち切り数が657例で生存状況把握割合は98.2%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-3③-1に示す。男性が約65%、女性が約35%を占め、平均年齢は、67.5歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、III期が29.3%であった。約85%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表3-3③-1 直腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	24,308	100.0	13,151	100.0	37,459	100.0
拠点病院等	21,974	90.4	11,891	90.4	33,865	90.4
都道府県推薦病院	2,334	9.6	1,260	9.6	3,594	9.6
年齢						
平均年齢 (SD)	67.3	10.9	68.0	12.6	67.5	11.6
0-14歳	0	0.0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)
15-39歳	340	1.4	270	2.1	610	1.6
40歳代	1,214	5.0	851	6.5	2,065	5.5
50歳代	3,569	14.7	1,943	14.8	5,512	14.7
60歳代	8,483	34.9	3,762	28.6	12,245	32.7
70歳代	7,595	31.2	3,792	28.8	11,387	30.4
80歳以上	3,107	12.8	2,532	19.3	5,639	15.1
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	6,986	-	3,598	-	10,584	-
I期	6,586	27.1	3,549	27.0	10,135	27.1
II期	5,514	22.7	2,972	22.6	8,486	22.7
III期	7,043	29.0	3,942	30.0	10,985	29.3
IV期	4,843	19.9	2,491	18.9	7,334	19.6
不詳	322	1.3	197	1.5	519	1.4
観血的治療						
有	20,525	84.4	11,199	85.2	31,724	84.7
原発巣・治癒切除	18,416	75.8	10,090	76.7	28,506	76.1
原発巣・非治癒切除	1,782	7.3	951	7.2	2,733	7.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	327	1.3	158	1.2	485	1.3
無	3,783	15.6	1,952	14.8	5,735	15.3
発見経緯						
がん検診	2,340	9.6	1,170	8.9	3,510	9.4
健康診断・人間ドック	2,089	8.6	863	6.6	2,952	7.9
他疾患経過観察中	4,459	18.3	2,008	15.3	6,467	17.3
その他・不明	15,420	63.4	9,110	69.3	24,530	65.5

\*全体集計には含まれていない

## (3)5年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 5 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体で I 期では相対性生存率は 90%以上であった。

表 3-3③-2 直腸 属性別 5 年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	63.1	71.8	71.1	72.5	67.6	73.4	72.6	74.3	64.7	72.4	71.8	72.9
拠点病院等	63.3	72.0	71.3	72.8	67.8	73.6	72.6	74.5	64.9	72.6	72.0	73.1
都道府県推薦病院	60.6	69.4	67.1	71.7	65.4	72.5	69.5	75.3	62.3	70.5	68.7	72.3
年齢												
0-39 歳	71.4	71.8	66.5	76.3	73.1	73.2	67.5	78.2	72.2	72.4	68.6	75.8
40 歳代	76.1	76.9	74.4	79.3	75.8	76.2	73.2	79.0	76.0	76.6	74.7	78.4
50 歳代	73.1	75.2	73.6	76.6	78.6	79.6	77.7	81.4	75.1	76.7	75.5	77.9
60 歳代	68.8	73.6	72.5	74.6	74.9	77.0	75.6	78.4	70.7	74.7	73.8	75.5
70 歳代	59.7	70.5	69.1	71.8	68.4	73.9	72.3	75.5	62.6	71.7	70.6	72.7
80 歳以上	38.1	63.4	60.5	66.2	43.6	60.8	58.0	63.5	40.5	62.1	60.2	64.1
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	86.5	98.0	97.1	98.9	91.0	98.1	97.1	99.1	88.0	98.1	97.4	98.8
I 期	81.6	93.5	92.4	94.5	88.6	96.1	94.9	97.2	84.1	94.4	93.6	95.2
II 期	75.5	87.0	85.7	88.3	79.2	87.6	85.9	89.2	76.8	87.2	86.2	88.2
III 期	66.7	75.1	73.9	76.4	72.0	77.6	76.0	79.0	68.6	76.0	75.0	77.0
IV 期	21.0	23.2	22.0	24.5	20.3	21.6	19.9	23.3	20.8	22.7	21.7	23.7
不詳	21.8	26.9	21.5	32.7	18.9	22.8	16.6	29.8	20.7	25.3	21.1	29.8
観血的治療												
有	72.3	82.2	81.4	82.8	77.2	83.5	82.7	84.3	74.0	82.6	82.1	83.2
原発巣・治癒切除	76.2	86.6	85.9	87.3	81.2	87.9	87.0	88.7	78.0	87.1	86.5	87.6
原発巣・非治癒切除	34.4	38.7	36.2	41.2	36.3	39.2	35.9	42.5	35.0	38.8	36.8	40.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	60.2	67.6	61.4	73.3	66.7	70.6	62.2	77.8	62.3	68.6	63.7	73.2
無	12.4	14.3	13.1	15.5	11.9	13.6	12.0	15.3	12.3	14.0	13.1	15.0

\*全体集計には含まれていない

## 4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)

## 肝細胞がん(肝細胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	431	29,956	18,036	98.3	71.5
I期	425	13,519	6,038	98.1	71.8
II期	418	8,762	5,218	98.5	71.1
III期	415	4,957	4,232	98.6	71.7
IV期	404	2,178	2,072	98.6	70.0

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、29,956例で、そのうち5年以内に死亡していたのは18,036例、打ち切りが506例であった。全体として、生存状況把握割合は98.3%であった。

対象者の属性を表3-4①-1に示す。性別にみると、男性が約71%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で38.1%、女性は43.9%だった。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が約45%、II期が約29%となっていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が69.6%だった。

## (2) 対象者の属性

表3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	21,174	100.0	8,782	100.0	29,956	100.0
拠点病院等	19,456	91.9	7,996	91.0	27,452	91.6
都道府県推薦病院	1,718	8.1	786	9.0	2,504	8.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4	9.9	74.1	9.3	71.5	9.9
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	86	0.4	34	0.4	120	0.4
40歳代	526	2.5	112	1.3	638	2.1
50歳代	2,202	10.4	424	4.8	2,626	8.8
60歳代	6,305	29.8	1,753	20.0	8,058	26.9
70歳代	8,074	38.1	3,857	43.9	11,931	39.8
80歳以上	3,980	18.8	2,601	29.6	6,581	22.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	8,907	42.1	4,612	52.5	13,519	45.1
II期	6,272	29.6	2,490	28.4	8,762	29.2
III期	3,857	18.2	1,100	12.5	4,957	16.5
IV期	1,757	8.3	421	4.8	2,178	7.3
不詳	381	1.8	159	1.8	540	1.8
取扱い規約治療前ステージ						
I期	4,057	19.2	2,602	29.6	6,659	22.2
II期	7,930	37.5	3,320	37.8	11,250	37.6
III期	4,941	23.3	1,662	18.9	6,603	22.0
IV期	3,634	17.2	962	11.0	4,596	15.3
不詳	503	2.4	188	2.1	691	2.3
空欄	109	0.5	48	0.5	157	0.5
観血的治療						
有	6,238	29.5	1,918	21.8	8,156	27.2
原発巣・治癒切除	5,749	27.2	1,800	20.5	7,549	25.2
原発巣・非治癒切除	344	1.6	86	1.0	430	1.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	145	0.7	32	0.4	177	0.6
無	14,936	70.5	6,864	78.2	21,800	72.8
発見経緯						
がん検診	122	0.6	22	0.3	144	0.5
健康診断・人間ドック	866	4.1	146	1.7	1,012	3.4
他疾患経過観察中	14,227	67.2	6,618	75.4	20,845	69.6
その他・不明	5,959	28.1	1,996	22.7	7,955	26.6

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、相対生存率は男女ともに約45%とほぼ同様であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約64%である。観血的治療を受けたものの割合は27.2%であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は72.7%であった。

表3-4①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	38.5	45.4	44.6	46.2	40.9	45.8	44.7	47.0	39.2	45.5	44.9	46.2
拠点病院等	38.8	45.7	44.9	46.6	41.5	46.4	45.2	47.6	39.6	45.9	45.2	46.6
都道府県推薦病院	34.8	41.4	38.7	44.1	35.4	40.1	36.3	43.9	35.0	41.0	38.8	43.2
年齢												
0-39歳	52.6	52.8	41.8	62.7	79.4	79.6	61.6	89.8	60.1	60.3	50.9	68.5
40歳代	48.3	48.8	44.4	53.1	71.1	71.6	62.1	79.1	52.3	52.9	48.8	56.7
50歳代	46.6	47.9	45.7	50.0	55.0	55.8	50.8	60.4	47.9	49.2	47.2	51.1
60歳代	44.6	47.8	46.5	49.1	49.8	51.3	48.9	53.7	45.8	48.6	47.4	49.7
70歳代	38.3	45.6	44.4	46.9	44.5	48.4	46.6	50.1	40.3	46.5	45.5	47.5
80歳以上	22.9	37.1	35.0	39.2	25.4	33.7	31.5	35.9	23.9	35.6	34.1	37.2
UICC TNM 総合ステージ												
I期	55.5	65.8	64.6	67.0	53.6	59.8	58.2	61.4	54.8	63.7	62.7	64.7
II期	40.3	47.0	45.6	48.4	39.0	43.6	41.4	45.7	39.9	46.0	44.8	47.2
III期	14.5	17.2	15.9	18.6	10.8	12.2	10.2	14.4	13.7	16.1	15.0	17.3
IV期	3.7	4.3	3.3	5.4	3.5	4.0	2.3	6.4	3.7	4.2	3.4	5.2
不詳	11.1	13.5	9.9	17.8	9.5	11.6	6.8	17.9	10.6	12.9	9.9	16.4
取扱い規約治療前ステージ												
I期	60.0	69.3	67.5	71.0	59.4	65.6	63.5	67.7	59.8	67.8	66.4	69.1
II期	49.5	59.0	57.7	60.4	45.5	51.2	49.3	53.2	48.3	56.7	55.6	57.8
III期	26.9	31.8	30.4	33.3	25.6	28.8	26.4	31.2	26.6	31.0	29.8	32.3
IV期	8.2	9.6	8.5	10.7	6.8	7.7	6.0	9.7	7.9	9.2	8.3	10.1
不詳	21.8	26.3	22.0	30.8	15.8	18.5	12.9	25.1	20.2	24.1	20.6	27.9
観血的治療												
有	63.4	73.1	71.7	74.4	65.7	71.6	69.2	73.8	64.0	72.7	71.5	73.9
原発巣・治癒切除	65.3	75.2	73.8	76.6	66.7	72.6	70.2	75.0	65.6	74.6	73.3	75.8
原発巣・非治癒切除	39.7	45.4	39.5	51.3	46.0	50.4	38.6	61.5	40.9	46.4	41.1	51.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	47.1	54.2	44.6	63.3	62.5	67.8	47.2	83.2	49.9	56.7	48.1	64.8
無	28.0	33.5	32.7	34.4	34.0	38.4	37.2	39.7	29.9	35.1	34.4	35.8

## 肝内胆管がん(肝内胆管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	418	4,095	3,315	98.8	70.5
I期	249	628	301	99.0	71.0
II期	280	786	539	99.0	70.2
III期	139	221	171	98.6	70.7
IV期	383	2,301	2,162	98.7	70.1

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、4,095例で、そのうち5年以内に死亡していたのは3,315例、打ち切りが50例であった。全体として、生存状況把握割合は98.8%であった。

男性が約62%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く全体で約38%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体でI期が約15%、II期が約19%、III期が約5%、IV期が約56%と半数以上をIV期が占めた。37.5%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が44.7%を占めた。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、

表3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,554	100.0	1,541	100.0	4,095	100.0
拠点病院等	2,359	92.4	1,429	92.7	3,788	92.5
都道府県推薦病院	195	7.6	112	7.3	307	7.5
年齢						
平均年齢 (SD)	70.1	10.3	71.2	10.9	70.5	10.5
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	22	0.9	13	0.8	35	0.9
40歳代	72	2.8	46	3.0	118	2.9
50歳代	260	10.2	140	9.1	400	9.8
60歳代	766	30.0	415	26.9	1,181	28.8
70歳代	982	38.4	561	36.4	1,543	37.7
80歳以上	452	17.7	366	23.8	818	20.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	404	15.8	224	14.5	628	15.3
II期	509	19.9	277	18.0	786	19.2
III期	135	5.3	86	5.6	221	5.4
IV期	1,408	55.1	893	57.9	2,301	56.2
不詳	98	3.8	61	4.0	159	3.9
取扱い規約治療前ステージ						
I期	124	4.9	95	6.2	219	5.3
II期	441	17.3	220	14.3	661	16.1
III期	397	15.5	241	15.6	638	15.6
IV期	1,181	46.2	765	49.6	1,946	47.5
不詳	248	9.7	141	9.1	389	9.5
空欄	163	6.4	79	5.1	242	5.9
観血的治療						
有	984	38.5	550	35.7	1,534	37.5
原発巣・治癒切除	810	31.7	460	29.9	1,270	31.0
原発巣・非治癒切除	140	5.5	73	4.7	213	5.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	34	1.3	17	1.1	51	1.2
無	1,570	61.5	991	64.3	2,561	62.5
発見経緯						
がん検診	22	0.9	13	0.8	35	0.9
健康診断・人間ドック	188	7.4	107	6.9	295	7.2
他疾患経過観察中	1,173	45.9	657	42.6	1,830	44.7
その他・不明	1,171	45.8	764	49.6	1,935	47.3

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、IV期が半数以上を占めていることから相対生存率は全体で約21%であった。他の部位と比較して、年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期では相対生存率は全体で58.9%である。観血的治療を受けたものの割合は37.5%であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約48%であった。

表3-4②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	18.0	20.8	19.1	22.6	18.7	20.3	18.2	22.5	18.3	20.6	19.3	22.0
拠点病院等	18.3	21.1	19.3	23.0	18.9	20.5	18.3	22.8	18.5	20.9	19.5	22.3
都道府県推薦病院	14.8	17.0	11.7	23.2	16.5	18.0	11.1	26.2	15.4	17.3	13.0	22.2
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			28.4	28.5	14.8	43.9
40歳代	26.0	26.3	16.6	37.1	27.6	27.8	15.7	41.3	26.7	26.9	19.1	35.3
50歳代	24.8	25.5	20.2	31.1	21.3	21.6	15.1	28.9	23.6	24.1	19.9	28.5
60歳代	20.7	22.1	19.1	25.3	24.3	25.0	20.8	29.3	21.9	23.2	20.7	25.7
70歳代	17.4	20.7	17.9	23.6	19.1	20.7	17.3	24.4	18.0	20.7	18.5	22.9
80歳以上	9.2	14.9	11.0	19.6	9.4	12.2	8.7	16.5	9.3	13.6	10.9	16.7
UICC TNM 総合ステージ												
I期	52.7	61.6	55.7	67.1	50.2	54.2	46.9	61.1	51.8	58.9	54.3	63.2
II期	30.5	34.6	30.1	39.3	31.7	34.4	28.5	40.4	30.9	34.6	31.0	38.2
III期	15.7	18.3	11.8	26.0	31.1	33.3	23.1	44.0	21.7	24.2	18.4	30.6
IV期	4.2	4.8	3.7	6.1	6.3	6.8	5.2	8.7	5.0	5.6	4.6	6.7
不詳	11.0	13.5	7.0	22.4	6.9	7.9	2.6	17.5	9.4	11.3	6.5	17.7
取扱い規約治療前ステージ												
I期	52.9	62.2	51.4	72.1	53.2	57.9	46.4	68.2	53.0	60.3	52.5	67.5
II期	39.1	45.2	39.9	50.5	40.9	44.6	37.5	51.6	39.7	45.0	40.8	49.2
III期	21.0	24.3	19.8	29.1	25.9	27.8	22.0	34.0	22.8	25.7	22.0	29.4
IV期	2.8	3.1	2.2	4.4	4.3	4.7	3.3	6.4	3.4	3.7	2.9	4.7
不詳	27.4	32.1	25.7	38.8	22.9	25.1	17.9	33.0	25.7	29.5	24.6	34.6
観血的治療												
有	41.5	47.5	44.0	51.0	45.4	48.7	44.1	53.1	42.9	47.9	45.1	50.7
原発巣・治癒切除	46.4	53.2	49.2	57.1	50.5	53.9	48.9	58.7	47.9	53.5	50.4	56.6
原発巣・非治癒切除	18.8	21.2	14.4	29.0	13.9	15.3	7.8	25.2	17.1	19.2	13.9	25.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	17.7	20.5	8.3	37.1	-	-			26.1	29.2	16.7	43.3
無	3.2	3.7	2.8	4.8	3.8	4.2	3.0	5.7	3.4	3.9	3.1	4.8



## 5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

## 小細胞肺がん(小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	416	9,355	8,327	98.9	70.9
I期	280	716	439	97.9	72.4
II期	259	629	453	98.7	71.3
III期	380	2,519	2,100	99.0	70.1
IV期	407	5,379	5,240	99.0	70.9

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、9,355例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、8,327例、打ち切りが105例で、全体として生存状況把握割合は98.9%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が57.5%、次いでIII期が26.9%であった。病期分布に男女差はほとんどなく、若干女性でIII期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約30%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が83.2%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	7,785	100.0	1,570	100.0	9,355	100.0
拠点病院等	7,175	92.2	1,424	90.7	8,599	91.9
都道府県推薦病院	610	7.8	146	9.3	756	8.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.9	8.6	70.4	9.1	70.9	8.7
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	(7-9)		(4-6)		14	0.1
40歳代	94	1.2	34	2.2	128	1.4
50歳代	582	7.5	134	8.5	716	7.7
60歳代	2,587	33.2	512	32.6	3,099	33.1
70歳代	3,233	41.5	634	40.4	3,867	41.3
80歳以上	1,279	16.4	251	16.0	1,530	16.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	622	8.0	94	6.0	716	7.7
II期	534	6.9	95	6.1	629	6.7
III期	2,031	26.1	488	31.1	2,519	26.9
IV期	4,502	57.8	877	55.9	5,379	57.5
不詳	96	1.2	16	1.0	112	1.2
観血的治療						
有	708	9.1	114	7.3	822	8.8
原発巣・治癒切除	616	7.9	98	6.2	714	7.6
原発巣・非治癒切除	67	0.9	15	1.0	82	0.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	25	0.3	(1-3)		26	0.3
無	7,077	90.9	1,456	92.7	8,533	91.2
発見経緯						
がん検診	311	4.0	43	2.7	354	3.8
健康診断・人間ドック	613	7.9	90	5.7	703	7.5
他疾患経過観察中	2,382	30.6	436	27.8	2,818	30.1
その他・不明	4,479	57.5	1,001	63.8	5,480	58.6

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-5①-2に示す。全体での5年相対生存率は、IV期が半数以上を占めることから低く約12%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期では相対生存率が44.7%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、相対生存率は44.4%であった。

表3-5①-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	9.5	10.9	10.2	11.7	13.8	14.6	12.8	16.5	10.2	11.6	10.9	12.3
拠点病院等	9.7	11.1	10.4	11.9	14.1	14.9	13.1	16.9	10.4	11.8	11.1	12.5
都道府県推薦病院	7.3	8.6	6.3	11.3	10.4	11.2	6.5	17.4	7.9	9.1	7.0	11.5
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	17.6	17.8	10.8	26.4	23.5	23.7	11.2	38.9	19.2	19.4	13.0	26.8
50歳代	13.6	14.0	11.3	17.1	22.1	22.4	15.7	29.9	15.2	15.6	13.0	18.4
60歳代	11.8	12.7	11.4	14.1	16.1	16.6	13.5	20.1	12.5	13.3	12.1	14.6
70歳代	8.9	10.5	9.3	11.7	13.0	14.0	11.3	17.0	9.6	11.1	10.0	12.2
80歳以上	3.7	5.8	4.3	7.7	4.9	6.1	3.3	10.2	3.9	5.9	4.5	7.5
UICC TNM 総合ステージ												
I期	36.0	43.1	38.5	47.6	50.9	54.6	43.3	64.9	38.0	44.7	40.5	48.9
II期	25.8	29.7	25.5	34.1	36.7	39.1	28.8	49.5	27.4	31.2	27.2	35.2
III期	14.8	16.8	15.1	18.6	21.1	22.2	18.5	26.1	16.0	17.9	16.3	19.5
IV期	1.4	1.6	1.2	2.0	3.1	3.3	2.2	4.7	1.7	1.9	1.5	2.3
不詳	13.1	15.2	8.3	24.2	-	-			13.1	15.0	8.7	23.1
観血的治療												
有	37.2	43.0	38.8	47.1	49.8	52.9	42.8	62.2	39.0	44.4	40.6	48.2
原発巣・治癒切除	40.4	46.8	42.3	51.3	53.9	57.1	46.1	66.9	42.3	48.3	44.1	52.4
原発巣・非治癒切除	17.5	19.5	10.5	30.8	-	-			19.2	21.3	12.7	31.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	6.7	7.7	7.1	8.4	10.9	11.6	9.9	13.4	7.4	8.4	7.8	9.0

## 非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	434	99,579	57,448	98.6	70.8
0期*	120	397	45	97.7	66.9
I期	424	41,348	10,755	98.5	70.7
II期	410	8,874	4,624	98.4	71.3
III期	424	16,601	12,048	98.5	70.0
IV期	431	31,155	28,612	98.7	70.9

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

対象者は、99,579例で、そのうち5年以内に死亡していた者は、57,448例、打ち切りが1,423例で、全体として生存状況把握割合は98.6%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約42%、次いでIV期が約31%であった。病期分布に若干女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、小細胞肺癌と比較して多く、48.1%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が40.7%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が66.8%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	66,521	100.0	33,058	100.0	99,579	100.0
拠点病院等	61,465	92.4	30,650	92.7	92,115	92.5
都道府県推薦病院	5,056	7.6	2,408	7.3	7,464	7.5
年齢						
平均年齢 (SD)	71.0	9.8	70.4	10.6	70.8	10.1
0-14歳	(4-6)		(1-3)		(4-6)	
15-39歳	323	0.5	308	0.9	631	0.6
40歳代	1,461	2.2	1,008	3.0	2,469	2.5
50歳代	5,423	8.2	3,134	9.5	8,557	8.6
60歳代	20,243	30.4	9,873	29.9	30,116	30.2
70歳代	25,684	38.6	12,138	36.7	37,822	38.0
80歳以上	13,383	20.1	6,596	20.0	19,979	20.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	183	-	214	-	397	-
I期	24,424	36.7	16,924	51.2	41,348	41.5
II期	6,789	10.2	2,085	6.3	8,874	8.9
III期	12,644	19.0	3,957	12.0	16,601	16.7
IV期	21,486	32.3	9,669	29.2	31,155	31.3
不詳	1,178	1.8	423	1.3	1,601	1.6
観血的治療						
有	29,126	43.8	18,761	56.8	47,887	48.1
原発巣・治癒切除	27,274	41.0	17,908	54.2	45,182	45.4
原発巣・非治癒切除	1,365	2.1	595	1.8	1,960	2.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	487	0.7	258	0.8	745	0.7
無	37,395	56.2	14,297	43.2	51,692	51.9
発見経緯						
がん検診	4,252	6.4	2,937	8.9	7,189	7.2
健康診断・人間ドック	8,217	12.4	4,598	13.9	12,815	12.9
他疾患経過観察中	27,046	40.7	13,520	40.9	40,566	40.7
その他・不明	27,006	40.6	12,003	36.3	39,009	39.2

\*全体集計には含まれていない

## (3)5年生存率

5年生存率を表3-5②-2に示す。全体での5年相対生存率は、男性が40.8%、女性が61.0%と女性でやや高かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみても、男性より女性で相対生存率がやや高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では相対生存率は全体で83.8%であった。

表3-5②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	34.7	40.8	40.4	41.2	56.3	61.0	60.5	61.6	41.9	47.7	47.3	48.0
拠点病院等	35.3	41.4	41.0	41.9	56.9	61.6	61.0	62.2	42.5	48.3	47.9	48.7
都道府県推薦病院	27.7	32.9	31.4	34.3	48.7	53.6	51.4	55.8	34.5	39.7	38.5	41.0
年齢												
0-39歳	50.4	50.6	45.0	56.0	67.8	67.9	62.3	72.9	58.9	59.1	55.1	62.9
40歳代	49.3	49.8	47.2	52.4	66.6	67.0	63.9	69.8	56.4	56.8	54.8	58.8
50歳代	48.2	49.6	48.2	50.9	68.6	69.6	67.9	71.2	55.7	56.9	55.9	58.0
60歳代	42.0	45.1	44.3	45.8	64.8	66.7	65.7	67.6	49.5	52.2	51.6	52.8
70歳代	34.2	40.5	39.8	41.2	57.5	62.2	61.3	63.2	41.7	47.7	47.1	48.2
80歳以上	17.2	28.1	27.1	29.2	33.0	43.7	42.2	45.3	22.4	33.6	32.7	34.5
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	80.7	90.9	83.5	96.6	95.3	100.0	96.6	100.0	88.6	96.3	92.4	99.3
I期	65.2	77.4	76.7	78.1	86.2	93.3	92.8	93.9	73.8	84.1	83.6	84.6
II期	43.7	51.0	49.6	52.4	59.8	65.4	63.1	67.7	47.5	54.4	53.2	55.6
III期	23.1	26.3	25.5	27.2	38.1	41.0	39.4	42.7	26.7	29.9	29.2	30.7
IV期	5.1	5.9	5.6	6.2	11.8	12.8	12.1	13.5	7.2	8.1	7.7	8.4
不詳	8.7	11.7	9.7	14.1	16.8	20.3	16.2	24.9	10.8	14.1	12.2	16.2
観血的治療												
有	65.8	75.8	75.2	76.4	85.3	91.2	90.7	91.8	73.5	82.0	81.6	82.4
原発巣・治癒切除	67.6	77.9	77.2	78.5	86.5	92.6	92.0	93.1	75.1	83.8	83.4	84.3
原発巣・非治癒切除	37.3	42.5	39.6	45.5	54.6	58.6	54.1	62.8	42.6	47.5	45.0	50.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	45.7	52.5	47.3	57.5	70.1	74.8	68.4	80.3	54.2	60.4	56.4	64.4
無	10.3	12.6	12.2	13.0	17.8	20.1	19.4	20.8	12.4	14.7	14.4	15.0

\*全体集計には含まれていない

## 6. 女性乳がん(女性乳癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	435	76,596	9,362	98.3	60.1
0期*	413	11,645	374	98.0	57.5
I期	428	34,450	1,627	98.3	60.0
II期	431	27,945	2,583	98.2	59.8
III期	427	9,359	2,210	98.4	60.5
IV期	414	4,469	2,787	98.5	60.2

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、76,596例で、5年以内に亡くなっていたのが9,362例、打ち切りが1,326例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は98.3%であった。

## (2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-6-1に示す。診断時の年齢をみると、60歳代が最も多かった。また、35歳未満は、1,386例であった(1.8%)。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が最も多く約45%であった。観血的治療の実施割合は、約89%であった。発見経緯をみると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

表3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	76,596	100.0
拠点病院等	71,055	92.8
都道府県推薦病院	5,541	7.2
年齢		
平均年齢 (SD)	60.1	13.8
0-14歳	0.0	0.0
15-39歳	4,252	5.6
40歳代	16,441	21.5
50歳代	15,620	20.4
60歳代	19,813	25.9
70歳代	13,779	18.0
80歳以上	6,691	8.7
35歳未満 (再掲)	1,386	1.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期*	11,644	-
I期	34,450	45.0
II期	27,945	36.5
III期	9,359	12.2
IV期	4,469	5.8
不詳	373	0.5
観血的治療		
有	67,924	88.7
原発巣・治癒切除	63,182	82.5
原発巣・非治癒切除	3,352	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,390	1.8
無	8,672	11.3
発見経緯		
がん検診	15,891	20.7
健康診断・人間ドック	4,237	5.5
他疾患経過観察中	10,666	13.9
その他・不明	45,802	59.8

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-6-2に示す。全体として、相対生存率は92.2%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が99.8%、II期が95.5%、III期が80.7%、IV期が38.7%であった。観血的治療実施を受けた者では、全体で96.8%であった。

表3-6-2 属性別5年相対生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	87.6	92.2	92.0	92.4
拠点病院等	87.8	92.3	92.0	92.5
都道府県推薦病院	86.3	91.7	90.7	92.6
年齢				
0-39歳	89.6	89.9	88.9	90.8
40歳代	93.8	94.4	94.0	94.8
50歳代	90.4	91.5	91.0	92.0
60歳代	89.5	91.9	91.5	92.3
70歳代	85.5	92.2	91.6	92.9
80歳以上	64.0	90.3	88.7	91.9
35歳未満 (再掲)	86.1	86.2	84.3	87.9
UICC TNM 総合ステージ				
0期*	96.8	100.0	100.0	100.0
I期	95.2	99.8	99.6	100.0
II期	90.7	95.5	95.2	95.9
III期	76.2	80.7	79.7	81.6
IV期	37.0	38.7	37.2	40.1
不詳	57.2	67.0	60.9	72.8
観血的治療				
有	92.6	96.8	96.6	97.1
原発巣・治癒切除	93.0	97.3	97.1	97.5
原発巣・非治癒切除	85.6	89.6	88.3	90.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	87.6	92.2	90.2	93.9
無	49.2	54.5	53.3	55.6

\*全体集計には含まれていない

## 7. 食道がん(食道癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	433	27,760	15,986	98.6	69.2
0期*	358	3,868	774	97.8	69.6
I期	413	11,191	3,450	98.3	69.4
II期	384	3,460	1,890	98.8	69.6
III期	414	8,031	6,052	99.0	68.7
IV期	407	4,482	4,102	99.0	68.5

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、27,760例で、5年以内に亡くなっていたのが15,986例、打ち切りが378例であった。全体として生存状況把握割合は98.6%であった。

みると、60歳代が35.5%、70歳代が36.7%と多かった。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が最も多く約40%、次いでIII期が約29%、IV期が約16%、II期が約13%であった。観血的治療の実施割合は全体で約51%であり、約45%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約27%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-7-1に示す。集計対象のうち男性が約85%、女性が約15%であった。年齢分布を

表3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	23,699	100.0	4,061	100.0	27,760	100.0
拠点病院等	22,631	95.5	3,888	95.7	26,519	95.5
都道府県推薦病院	1,068	4.5	173	4.3	1,241	4.5
年齢						
平均年齢 (SD)	69.2	9.0	68.7	11.0	69.2	9.4
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	38	0.2	23	0.6	61	0.2
40歳代	465	2.0	177	4.4	642	2.3
50歳代	2,658	11.2	594	14.6	3,252	11.7
60歳代	8,609	36.3	1,259	31.0	9,868	35.5
70歳代	8,908	37.6	1,293	31.8	10,201	36.7
80歳以上	3,021	12.7	715	17.6	3,736	13.5
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	3,182	-	686	-	3,868	-
I期	9,645	40.7	1,546	38.1	11,191	40.3
II期	2,902	12.2	558	13.7	3,460	12.5
III期	6,844	28.9	1,187	29.2	8,031	28.9
IV期	3,821	16.1	661	16.3	4,482	16.1
不詳	487	2.1	109	2.7	596	2.1
観血的治療						
有	12,053	50.9	2,099	51.7	14,152	51.0
原発巣・治癒切除	10,713	45.2	1,893	46.6	12,606	45.4
原発巣・非治癒切除	1,029	4.3	160	3.9	1,189	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	311	1.3	46	1.1	357	1.3
無	11,646	49.1	1,962	48.3	13,608	49.0
発見経緯						
がん検診	937	4.0	129	3.2	1,066	3.8
健康診断・人間ドック	2,178	9.2	244	6.0	2,422	8.7
他疾患経過観察中	6,693	28.2	904	22.3	7,597	27.4
その他・不明	13,891	58.6	2,784	68.6	16,675	60.1

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-7-2に示す。全体での相対生存率は、47.7%であり、男性が47.1%、女性が51.0%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、5年相対生存率はⅠ期が約79%、Ⅱ期が約51%、Ⅲ期が約27%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約73%であり、そのうち原発巣・治癒切除例の相対生存率は約75%であった。

表3-7-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	41.1	47.1	46.3	47.8	47.5	51.0	49.4	52.7	42.0	47.7	47.0	48.3
拠点病院等	41.5	47.5	46.7	48.2	47.7	51.3	49.5	52.9	42.4	48.0	47.4	48.7
都道府県推薦病院	33.0	38.5	35.2	41.8	41.8	45.7	37.4	53.8	34.1	39.5	36.4	42.6
年齢												
0-39歳	36.8	37.0	22.1	52.0	-	-			39.2	39.3	27.1	51.3
40歳代	48.0	48.5	43.8	53.1	56.6	57.0	49.2	64.0	50.4	50.9	46.9	54.7
50歳代	49.0	50.4	48.4	52.4	54.5	55.2	51.1	59.2	50.0	51.3	49.5	53.1
60歳代	45.4	48.6	47.5	49.7	53.1	54.6	51.7	57.4	46.4	49.4	48.3	50.4
70歳代	40.7	47.9	46.7	49.1	49.4	53.3	50.3	56.2	41.8	48.6	47.5	49.7
80歳以上	22.1	36.0	33.6	38.5	26.2	34.8	30.6	39.2	22.9	35.8	33.7	37.9
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	77.8	90.0	88.3	91.6	89.6	96.8	94.0	99.0	79.8	91.2	89.7	92.6
Ⅰ期	67.8	78.2	77.1	79.2	76.1	82.1	79.7	84.4	68.9	78.7	77.7	79.7
Ⅱ期	43.6	49.7	47.6	51.8	52.4	56.1	51.6	60.5	45.0	50.8	48.9	52.6
Ⅲ期	22.8	25.7	24.6	26.8	32.1	33.9	31.1	36.7	24.1	26.9	25.9	28.0
Ⅳ期	7.4	8.3	7.4	9.3	9.4	10.1	7.8	12.7	7.7	8.6	7.7	9.5
不詳	16.2	19.9	16.0	24.1	14.4	16.6	9.8	25.1	15.9	19.3	15.8	23.0
観血的治療												
有	63.7	72.0	71.0	72.9	70.8	75.3	73.1	77.3	64.8	72.5	71.6	73.4
原発巣・治癒切除	66.3	74.8	73.8	75.8	73.4	78.0	75.8	80.0	67.4	75.3	74.4	76.2
原発巣・非治癒切除	40.9	46.9	43.5	50.4	46.2	49.4	40.9	57.5	41.6	47.3	44.1	50.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	50.1	56.3	49.9	62.3	49.3	51.8	35.9	66.0	50.0	55.7	49.8	61.3
無	17.5	20.7	19.8	21.5	22.3	24.4	22.4	26.5	18.2	21.2	20.5	22.0

\*全体集計には含まれていない



## 8. 膵臓がん(膵臓癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	434	30,657	26,995	98.8	70.9
0期*	208	596	142	98.2	69.6
I期	398	2,366	1,277	98.7	71.9
II期	421	8,945	7,060	98.8	71.0
III期	409	4,185	3,883	98.7	70.6
IV期	429	14,357	14,031	98.9	70.5

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、30,657例で、5年以内に亡くなっていたのが26,995例、打ち切りが362例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.8%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-8-1に示す。集計対象者は、男性が約55%、女性が約45%であった。診断時の年齢

分布は、70歳代が約36%と最も多く、次いで60歳代が29%、80歳以上が約22%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が最も多く46.8%、次いでII期が29.2%、III期が13.7%であった。観血的治療の実施割合は全体で28.7%であり、23.7%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約29%であった。

表3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	16,910	100.0	13,747	100.0	30,657	100.0
拠点病院等	15,595	92.2	12,649	92.0	28,244	92.1
都道府県推薦病院	1,315	7.8	1,098	8.0	2,413	7.9
年齢						
平均年齢 (SD)	69.7	10.4	72.5	10.8	70.9	10.7
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	126	0.7	82	0.6	208	0.7
40歳代	584	3.5	355	2.6	939	3.1
50歳代	1,818	10.8	1,050	7.6	2,868	9.4
60歳代	5,390	31.9	3,508	25.5	8,898	29.0
70歳代	6,010	35.5	4,985	36.3	10,995	35.9
80歳以上	2,981	17.6	3,766	27.4	6,747	22.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	344	-	252	-	596	-
I期	1,254	7.4	1,112	8.1	2,366	7.7
II期	4,919	29.1	4,026	29.3	8,945	29.2
III期	2,263	13.4	1,922	14.0	4,185	13.7
IV期	8,060	47.7	6,297	45.8	14,357	46.8
不詳	414	2.4	390	2.8	804	2.6
観血的治療						
有	4,986	29.5	3,827	27.8	8,813	28.7
原発巣・治癒切除	4,036	23.9	3,226	23.5	7,262	23.7
原発巣・非治癒切除	768	4.5	499	3.6	1,267	4.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	182	1.1	102	0.7	284	0.9
無	11,924	70.5	9,920	72.2	21,844	71.3
発見経緯						
がん検診	91	0.5	74	0.5	165	0.5
健康診断・人間ドック	828	4.9	535	3.9	1,363	4.4
他疾患経過観察中	5,197	30.7	3,781	27.5	8,978	29.3
その他・不明	10,794	63.8	9,357	68.1	20,151	65.7

\*全体集計には含まれていない



## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-8-2に示す。5年相対生存率は、全体で約13%であった。肝や肺と同様、実測生存率と相対生存率の差は他の部位と比較して小さく、予後があまり良くないがんと考えられる。但し、早期に発見することが難しく、対象が限られているものの0期の相対生存率は、85%を超えていた。年代別にみても、実測生存率、相対生存率はほぼ同程度であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、相対生存率はI期が約52%、II期が約23%、III期が約7%、IV期が約1%であった。観血治療を受けた者の相対生存率は約37%であり、原発巣・治癒切除例のみをみても相対生存率は約41%にとどまった。

表3-8-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	10.9	12.5	12.0	13.0	11.5	12.5	11.9	13.1	11.2	12.5	12.1	12.9
拠点病院等	11.1	12.6	12.1	13.2	11.7	12.7	12.1	13.4	11.4	12.7	12.3	13.1
都道府県推薦病院	9.1	10.7	8.9	12.6	8.3	9.2	7.5	11.2	8.8	10.0	8.7	11.4
年齢												
0-39歳	36.1	36.2	27.8	44.6	39.0	39.1	28.6	49.5	37.2	37.3	30.7	43.9
40歳代	19.2	19.4	16.3	22.8	25.3	25.5	21.0	30.2	21.5	21.7	19.1	24.5
50歳代	15.0	15.4	13.8	17.2	17.9	18.1	15.8	20.6	16.1	16.4	15.1	17.8
60歳代	12.6	13.5	12.6	14.5	14.6	15.0	13.8	16.3	13.4	14.1	13.4	14.9
70歳代	10.2	12.1	11.2	13.0	11.7	12.6	11.7	13.6	10.9	12.3	11.7	13.0
80歳以上	4.1	6.7	5.6	7.9	4.5	6.0	5.1	6.9	4.3	6.3	5.6	7.0
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	74.3	85.4	79.7	90.4	78.5	84.6	78.6	89.6	76.1	85.1	81.0	88.7
I期	44.0	51.4	48.2	54.6	47.7	52.2	49.0	55.4	45.8	51.8	49.5	54.1
II期	20.5	23.5	22.2	24.8	20.3	22.1	20.7	23.4	20.4	22.9	21.9	23.8
III期	6.4	7.2	6.1	8.4	5.9	6.3	5.3	7.5	6.1	6.8	6.0	7.7
IV期	1.3	1.5	1.2	1.8	1.2	1.3	1.1	1.7	1.3	1.4	1.2	1.6
不詳	5.2	6.3	4.0	9.3	7.5	8.6	5.9	12.1	6.3	7.4	5.6	9.6
観血的治療												
有	32.2	36.4	34.9	37.9	35.5	37.9	36.3	39.6	33.6	37.1	36.0	38.2
原発巣・治癒切除	36.5	41.2	39.5	42.8	38.9	41.7	39.9	43.5	37.6	41.4	40.2	42.6
原発巣・非治癒切除	13.1	14.8	12.3	17.7	13.8	14.7	11.6	18.1	0.0	0.0	0.0	0.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	18.4	21.0	15.0	27.8	31.0	32.7	23.5	42.4	13.4	14.8	12.8	16.9
無	1.9	2.2	1.9	2.5	2.0	2.3	2.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0

\*全体集計には含まれていない

## 9. 子宮頸がん(子宮頸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	385	13,552	3,685	97.3	54.6
0期*	389	24,293	184	89.0	40.0
I期	359	6,037	379	96.4	48.4
II期	299	2,215	543	98.2	60.8
III期	305	3,117	1,174	97.7	57.2
IV期	318	2,033	1,513	98.5	61.3

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、13,552例で、5年以内に亡くなっていたのは3,685例、打ち切りが367例であった。集計対象全体の生存状況把握割合は97.3%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-9-1に示す。診断時の年齢をみると、40歳代、15～39歳と比較的若い年代が多かった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、原則として生存率の集計対象ではI期が約45%と最も多く、次いでIII期が約23%、II期が約16%であった。観血的治療の実施割合は約57%であった。発見経緯をみると、がん検診が約16%であった。

表3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	13,552	100.0
拠点病院等	12,919	95.3
都道府県推薦病院	633	4.7
年齢		
平均年齢 (SD)	54.6	16.2
0-14歳	0	0.0
15-39歳	2,756	20.3
40歳代	3,230	23.8
50歳代	2,312	17.1
60歳代	2,414	17.8
70歳代	1,716	12.7
80歳以上	1,124	8.3
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期*	24,292	-
I期	6,037	44.5
II期	2,215	16.3
III期	3,117	23.0
IV期	2,033	15.0
不詳	150	1.1
観血的治療		
有	7,738	57.1
原発巣・治癒切除	6,934	51.2
原発巣・非治癒切除	567	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	237	1.7
無	5,814	42.9
発見経緯		
がん検診	2,139	15.8
健康診断・人間ドック	454	3.4
他疾患経過観察中	1,554	11.5
その他・不明	9,405	69.4

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-9-2に示す。全体として、実測生存率が約73%、相対生存率が約75%であった。但し0期は含まれていない。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約96%、II期が約80%、III期が約65%、IV期が約26%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約91%であり、そのうち原発巣・治癒切除例では約93%であった。

表3-9-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	72.5	75.1	74.3	75.9
拠点病院等	72.3	74.9	74.1	75.7
都道府県推薦病院	76.4	78.8	75.2	82.1
年齢				
0-39歳	87.3	87.5	86.2	88.7
40歳代	81.2	81.7	80.3	83.0
50歳代	74.8	75.7	73.9	77.5
60歳代	71.9	73.8	71.9	75.6
70歳代	57.2	61.6	59.0	64.1
80歳以上	31.5	43.6	39.8	47.4
UICC TNM 分類総合ステージ				
0期*	92.3	95.3	88.0	99.2
I期	93.6	95.6	94.9	96.2
II期	75.3	79.6	77.7	81.5
III期	62.0	64.7	62.9	66.4
IV期	24.8	26.0	24.1	28.0
不詳	48.1	51.4	42.5	59.7
観血的治療				
有	90.1	91.3	90.6	92.0
原発巣・治癒切除	91.6	92.9	92.2	93.5
原発巣・非治癒切除	75.7	77.0	73.1	80.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	78.1	79.5	73.4	84.4
無	49.2	52.9	51.5	54.3

\*全体集計には含まれていない

## 10. 子宮体がん(子宮体癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	打ち切り数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	394	16,843	3,166	249	98.5	60.0
I期	380	11,651	916	174	98.5	59.4
II期	283	1,037	149	20	98.1	59.5
III期	331	2,304	787	32	98.6	60.9
IV期	321	1,497	1,171	16	98.9	62.8

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、16,843例で、5年以内に亡くなっていたのが3,166例、打ち切りが249例であった。集計対象全体として、生存状況把握割合は98.5%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-10-1に示す。診断時の年齢をみると、50歳代が約3割と最も多く、次いで60歳代が約27%、70歳代が約16%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が69.2%、II期が6.2%、III期が13.7%、IV期が8.9%であった。観血的治療の実施割合は、約91%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が15.8%であった。

表3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	16,843	100.0
拠点病院等	15,943	94.7
都道府県推薦病院	900	5.3
年齢		
平均年齢 (SD)	60.0	12.5
0-14歳	0	0.0
15-39歳	837	5.0
40歳代	2,556	15.2
50歳代	5,001	29.7
60歳代	4,578	27.2
70歳代	2,734	16.2
80歳以上	1,137	6.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I期	11,651	69.2
II期	1,037	6.2
III期	2,304	13.7
IV期	1,497	8.9
不詳	354	2.1
観血的治療		
有	15,299	90.8
原発巣・治癒切除	13,905	82.6
原発巣・非治癒切除	820	4.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	574	3.4
無	1,544	9.2
発見経緯		
がん検診	1,102	6.5
健康診断・人間ドック	351	2.1
他疾患経過観察中	2,666	15.8
その他・不明	12,724	75.5

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-10-2に示す。全体での5年実測生存率は約81%、相対生存率が約84%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約96%、II期が約89%、III期が約68%、IV期が約22%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約89%であり、原発巣・治癒切除例では92.5%であった。

表3-10-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	81.1	84.2	83.6	84.8
拠点病院等	81.0	84.1	83.5	84.8
都道府県推薦病院	82.6	86.0	83.2	88.4
年齢				
0-39歳	93.4	93.6	91.7	95.1
40歳代	90.4	91.0	89.7	92.1
50歳代	87.9	89.0	88.1	89.9
60歳代	81.0	83.2	82.0	84.3
70歳代	71.2	76.7	74.9	78.5
80歳以上	45.6	60.7	56.8	64.6
UICC TNM 総合ステージ				
I期	92.1	95.5	95.0	96.0
II期	85.5	88.9	86.5	91.0
III期	65.7	68.1	66.1	70.1
IV期	21.2	22.1	19.9	24.3
不詳	59.4	62.9	57.3	68.1
観血的治療				
有	86.2	89.3	88.7	89.8
原発巣・治癒切除	89.4	92.5	92.0	93.1
原発巣・非治癒切除	38.5	39.9	36.5	43.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.3	80.3	76.5	83.6
無	30.3	32.9	30.4	35.5

## 11. 前立腺がん(前立腺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	426	70,853	11,883	98.3	71.6
I期	415	27,762	2,863	98.2	71.5
II期	409	20,232	1,790	98.2	70.2
III期	407	10,633	1,461	98.6	71.6
IV期	415	10,712	5,186	98.4	73.9

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、70,853例で、5年以内に亡くなっていたのが11,883例、打ち切りが1,226例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.3%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-11-1に示す。診断時の年齢は、70歳代が約46%、80歳以上が約16%で、70歳以上が6割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が最も多く約39%であった。観血的治療の実施割合は、約31%であった。発見経緯をみると、がん検診が約17%、健康診断・人間ドックが約11%であった。

表3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	70,853	100.0
拠点病院等	65,184	92.0
都道府県推薦病院	5,669	8.0
年齢		
平均年齢 (SD)	71.6	7.8
0-14歳	0	0.0
15-39歳	(4-6)	
40歳代	177	0.2
50歳代	3,859	5.4
60歳代	23,379	33.0
70歳代	32,351	45.7
80歳以上	11,082	15.6
UICC TNM分類総合ステージ		
I期	27,762	39.2
II期	20,232	28.6
III期	10,633	15.0
IV期	10,712	15.1
不詳	1,514	2.1
観血的治療		
有	21,891	30.9
原発巣・治癒切除	18,096	25.5
原発巣・非治癒切除	3,104	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	691	1.0
無	48,962	69.1
発見経緯		
がん検診	12,325	17.4
健康診断・人間ドック	7,956	11.2
他疾患経過観察中	27,251	38.5
その他・不明	23,321	32.9

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-11-2に示す。全体として、5年実測生存率は、約83%、相対生存率が約98%であった。年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなり、高齢になるほど前立腺がん以外の要因で死亡させている例が多いと考えられた。5年相対生存率は、40歳代を除き90%以上と高い。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期からIII期では、相対生存率は100%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ100%であった。

表3-11-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	83.1	98.4	98.0	98.7
拠点病院等	83.4	98.4	98.1	98.8
都道府県推薦病院	79.9	97.5	96.1	98.7
年齢				
0-39歳	-	-		
40歳代	87.3	88.4	82.4	92.6
50歳代	94.5	97.4	96.6	98.1
60歳代	91.8	98.6	98.2	99.0
70歳代	84.5	99.7	99.3	100.0
80歳以上	56.6	93.6	92.0	95.1
UICC TNM分類総合ステージ				
I期	89.6	100.0	100.0	100.0
II期	91.1	100.0	100.0	100.0
III期	86.2	100.0	100.0	100.0
IV期	51.2	63.4	62.3	64.6
不詳	61.1	81.6	78.3	84.9
観血的治療				
有	95.0	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	95.5	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	93.6	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	90.3	100.0	99.8	100.0
無	77.8	95.2	94.8	95.7

## 12. 膀胱がん(膀胱癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	421	16,871	7,704	98.2	73.8
0期*	403	15,565	3,158	97.8	71.9
I期	403	9,137	2,703	98.2	73.3
II期	397	3,284	1,748	98.1	74.9
III期	357	1,650	1,045	98.5	74.2
IV期	381	2,102	1,737	99.0	72.3

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、16,871例で、5年以内に亡くなっていた者が7,704例、打ち切りが296例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.2%であった。

と、男性が約77%、女性が約23%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約34%、80歳以上が約33%、6割以上が70歳以上であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約54%と半数以上を占めた。観血的治療の実施割合は、85.6%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が24.3%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-12-1に示す。性別でみる

表3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	12,963	100.0	3,908	100.0	16,871	100.0
拠点病院等	11,831	91.3	3,550	90.8	15,381	91.2
都道府県推薦病院	1,132	8.7	358	9.2	1,490	8.8
年齢						
平均年齢 (SD)	73.1	10.3	75.8	11.1	73.8	10.6
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	51	0.4	29	0.7	80	0.5
40歳代	218	1.7	73	1.9	291	1.7
50歳代	913	7.0	199	5.1	1,112	6.6
60歳代	3,323	25.6	697	17.8	4,020	23.8
70歳代	4,571	35.3	1,222	31.3	5,793	34.3
80歳以上	3,887	30.0	1,688	43.2	5,575	33.0
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	12,605	-	2,959	-	15,564	-
I期	7,298	56.3	1,839	47.1	9,137	54.2
II期	2,461	19.0	823	21.1	3,284	19.5
III期	1,174	9.1	476	12.2	1,650	9.8
IV期	1,523	11.7	579	14.8	2,102	12.5
不詳	507	3.9	191	4.9	698	4.1
観血的治療						
有	11,256	86.8	3,193	81.7	14,449	85.6
原発巣・治癒切除	8,482	65.4	2,294	58.7	10,776	63.9
原発巣・非治癒切除	1,428	11.0	490	12.5	1,918	11.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	1,346	10.4	409	10.5	1,755	10.4
無	1,707	13.2	715	18.3	2,422	14.4
発見経緯						
がん検診	73	0.6	13	0.3	86	0.5
健康診断・人間ドック	366	2.8	79	2.0	445	2.6
他疾患経過観察中	3,219	24.8	877	22.4	4,096	24.3
その他・不明	9,305	71.8	2,939	75.2	12,244	72.6

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-12-2に示す。全体の5年実測生存率は約54%、相対生存率が約66%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差がやや大きくなっていった。年代別にみた相対生存率は、全体としては70歳代で66.8%であるが、80歳以上では54.3%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が約86%、Ⅱ期が約57%、Ⅲ期が約43%、Ⅳ期が約19%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は73.7%で、そのうち原発巣・治癒切除例では80.0%であった。

表3-12-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	55.4	68.7	67.6 69.8	49.4	58.1	56.2 59.9	54.0	66.2	65.3 67.1
拠点病院等	55.1	68.4	67.3 69.5	49.9	58.6	56.7 60.5	53.9	66.1	65.1 67.1
都道府県推薦病院	57.9	72.0	68.3 75.5	44.2	52.9	46.6 59.0	54.6	67.4	64.2 70.5
年齢									
0-39歳	76.0	76.3	61.8 85.9	-	-		72.1	72.4	61.0 81.0
40歳代	73.3	74.1	67.6 79.6	74.8	75.3	63.5 83.9	73.7	74.4	68.8 79.2
50歳代	79.5	81.8	79.0 84.4	76.7	77.7	71.1 83.1	79.0	81.1	78.5 83.5
60歳代	70.3	75.3	73.6 76.9	68.3	70.3	66.6 73.7	69.9	74.4	72.9 75.9
70歳代	57.2	68.1	66.4 69.8	57.0	62.0	58.9 64.9	57.2	66.8	65.3 68.3
80歳以上	33.4	58.4	55.8 61.0	31.3	45.3	42.1 48.6	32.7	54.3	52.2 56.3
UICC TNM分類総合ステージ									
0期*	78.6	96.4	95.5 97.3	83.6	95.4	93.8 96.9	79.5	96.2	65.5 97.0
Ⅰ期	70.1	87.4	86.0 88.7	70.3	82.6	80.1 85.0	70.2	86.4	85.2 87.5
Ⅱ期	47.4	59.1	56.6 61.6	42.8	50.9	46.9 55.0	46.2	57.0	54.9 59.1
Ⅲ期	37.7	45.4	42.1 48.8	32.5	37.5	32.6 42.4	36.2	43.1	40.3 45.9
Ⅳ期	18.0	20.9	18.7 23.2	13.5	15.1	12.1 18.4	16.8	19.3	17.5 21.1
不詳	33.9	45.0	39.5 50.6	25.8	32.6	25.1 40.7	31.7	41.6	37.1 46.2
観血的治療									
有	61.1	75.3	74.2 76.4	58.4	68.1	66.1 70.1	60.5	73.7	72.7 74.7
原発巣・治癒切除	66.3	81.2	79.9 82.4	65.1	75.7	73.3 77.9	66.1	80.0	78.9 81.0
原発巣・非治癒切除	33.9	43.5	40.3 46.7	31.5	37.0	32.2 41.9	33.3	41.8	39.2 44.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	57.0	71.6	68.2 74.9	52.9	62.7	56.8 68.3	56.1	69.5	66.6 72.4
無	17.0	23.0	20.6 25.5	9.0	11.6	9.1 14.5	14.7	19.6	17.7 21.5

\*全体集計には含まれていない



## 13. 喉頭がん(喉頭癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013-2014	353	6,979	2,144	98.0	70.3
0期*	180	438	75	98.6	69.4
I期	327	2,907	532	98.0	70.5
II期	293	1,584	370	98.2	69.8
III期	242	1,023	393	98.1	70.8
IV期	275	1,378	813	98.3	70.0

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

(1) 生存状況把握割合  
集計対象は、6,979例で、5年以内に亡くなっていたのが2,144例、打ち切りが137例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.0%であった。

と、男性が約93%、女性が約7%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代・60歳代で約7割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約29%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約15%であった。

(2) 対象者の属性  
集計対象の属性を表3-13-1に示す。性別でみる

表3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,514	100.0	465	100.0	6,979	100.0
拠点病院等	6,362	97.7	447	96.1	6,809	97.6
都道府県推薦病院	152	2.3	18	3.9	170	2.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4	9.5	69.5	11.5	70.3	9.6
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	14	0.2	(7-9)		23	0.3
40歳代	112	1.7	11	2.4	123	1.8
50歳代	626	9.6	65	14.0	691	9.9
60歳代	2,269	34.8	127	27.3	2,396	34.3
70歳代	2,355	36.2	160	34.4	2,515	36.0
80歳以上	1,138	17.5	93	20.0	1,231	17.6
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	389	-	49	-	438	-
I期	2,723	41.8	184	39.6	2,907	41.7
II期	1,478	22.7	106	22.8	1,584	22.7
III期	957	14.7	66	14.2	1,023	14.7
IV期	1,281	19.7	97	20.9	1,378	19.7
不詳	75	1.2	12	2.6	87	1.2
観血的治療						
有	1,861	28.6	145	31.2	2,006	28.7
原発巣・治癒切除	1,524	23.4	116	24.9	1,640	23.5
原発巣・非治癒切除	189	2.9	17	3.7	206	3.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	148	2.3	12	2.6	160	2.3
無	4,653	71.4	320	68.8	4,973	71.3
発見経緯						
がん検診	15	0.2	0	0.0	15	0.2
健康診断・人間ドック	47	0.7	(1-3)		48	0.7
他疾患経過観察中	940	14.4	69	14.8	1,009	14.5
その他・不明	5,512	84.6	395	84.9	5,907	84.6

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-13-2に示す。全体の5年実測生存率は約69%、相対生存率が約81%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差が大きくなっていた。年代別にみた相対生存率は、どの年代においても75%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が約97%、Ⅱ期が約89%、Ⅲ期約71%、Ⅳ期が約47%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約81%であった。

表3-13-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	68.5	80.8	79.4	82.1	76.4	83.2	78.7	87.2	69.0	80.9	79.6	82.2
拠点病院等	68.4	80.7	79.3	82.0	76.7	83.4	78.8	87.4	68.9	80.9	79.6	82.1
都道府県推薦病院	71.8	84.7	75.3	92.3	-	-	-	-	71.7	84.0	75.2	91.3
年齢												
0-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	83.9	84.9	76.6	90.6	-	-	-	-	84.5	85.5	77.7	90.8
50歳代	80.8	83.2	79.8	86.2	89.0	90.2	79.3	95.9	81.6	83.9	80.6	86.7
60歳代	76.1	81.6	79.6	83.4	84.2	86.7	78.9	92.1	76.6	81.8	80.0	83.6
70歳代	68.4	80.7	78.5	82.9	80.5	86.8	79.2	92.5	69.2	81.2	79.0	83.2
80歳以上	44.9	77.2	72.1	82.2	48.3	65.6	51.4	78.7	45.2	76.2	71.5	80.9
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	81.7	95.3	90.3	99.4	91.8	100.0	87.8	100.0	82.8	96.0	91.5	99.7
Ⅰ期	81.1	96.4	94.6	98.1	87.5	96.4	90.1	100.9	81.5	96.5	94.7	98.1
Ⅱ期	76.0	89.0	86.3	91.4	82.1	89.3	79.8	95.9	76.4	89.0	86.4	91.3
Ⅲ期	60.6	71.0	67.3	74.6	69.7	75.3	61.6	85.6	61.2	71.3	67.7	74.7
Ⅳ期	39.2	45.8	42.6	48.9	57.3	60.4	49.3	70.1	40.5	46.8	43.8	49.8
不詳	58.1	70.9	55.8	83.7	-	-	-	-	56.4	68.3	54.5	80.3
観血的治療												
有	68.2	80.9	78.4	83.4	79.3	86.4	78.2	92.7	69.0	81.4	78.9	83.7
原発巣・治癒切除	68.4	81.2	78.4	83.9	79.3	86.0	76.7	92.9	69.1	81.6	78.9	84.2
原発巣・非治癒切除	65.7	77.0	68.4	84.4	-	-	-	-	66.1	77.1	69.0	84.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	69.5	82.9	73.2	91.0	-	-	-	-	71.1	84.4	75.2	92.0
無	68.6	80.7	79.1	82.2	75.2	81.8	76.2	86.5	69.0	80.8	79.2	82.3

\*全体集計には含まれていない



## 14. 胆嚢がん(胆嚢癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	429	6,397	4,774	98.4	74.2
0期*	118	172	30	97.1	69.7
I期	336	844	174	97.4	71.6
II期	335	958	399	98.3	74.8
III期	363	1,293	1,024	97.9	75.6
IV期	417	3,068	2,974	98.9	73.8

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,397例で、5年以内に亡くなっていたのが4,774例、打ち切りが103例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

と、男性が約45%、女性が約55%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が約36%、80歳以上が約34%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が48.0%を占めた。観血的治療の実施割合は、約44%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が38.3%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-14-1に示す。性別でみる

表3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,865	100.0	3,532	100.0	6,397	100.0
拠点病院等	2,632	91.9	3,199	90.6	5,831	91.2
都道府県推薦病院	233	8.1	333	9.4	566	8.8
年齢						
平均年齢 (SD)	73.5	10.1	74.8	10.7	74.2	10.5
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	(4-6)		(7-9)		13	0.2
40歳代	53	1.8	54	1.5	107	1.7
50歳代	188	6.6	246	7.0	434	6.8
60歳代	654	22.8	711	20.1	1,365	21.3
70歳代	1,091	38.1	1,213	34.3	2,304	36.0
80歳以上	873	30.5	1,301	36.8	2,174	34.0
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	85	-	87	-	172	-
I期	439	15.3	405	11.5	844	13.2
II期	439	15.3	519	14.7	958	15.0
III期	576	20.1	717	20.3	1,293	20.2
IV期	1,320	46.1	1,748	49.5	3,068	48.0
不詳	91	3.2	143	4.0	234	3.7
観血的治療						
有	1,331	46.5	1,470	41.6	2,801	43.8
原発巣・治癒切除	1,129	39.4	1,223	34.6	2,352	36.8
原発巣・非治癒切除	167	5.8	203	5.7	370	5.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	35	1.2	44	1.2	79	1.2
無	1,534	53.5	2,062	58.4	3,596	56.2
発見経緯						
がん検診	23	0.8	19	0.5	42	0.7
健康診断・人間ドック	155	5.4	125	3.5	280	4.4
他疾患経過観察中	1,185	41.4	1,267	35.9	2,452	38.3
その他・不明	1,502	52.4	2,121	60.1	3,623	56.6

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-14-2に示す。全体の5年実測生存率はⅣ期が約半数を占めたことから約25%、相対生存率が約29%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が約93%、Ⅱ期が約69%、Ⅲ期が約23%、Ⅳ期が約2%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約63%で、そのうち原発巣・治癒切除例では約71%であった。

表3-14-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	25.3	31.2	29.2	33.2	24.4	27.8	26.2	29.5	24.8	29.3	28.1	30.6
拠点病院等	24.7	30.4	28.4	32.5	23.9	27.4	25.7	29.1	24.3	28.7	27.4	30.1
都道府県推薦病院	32.0	39.7	32.3	47.2	29.0	32.6	27.2	38.2	30.2	35.5	31.0	40.0
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	51.4	51.9	37.4	64.7	35.1	35.3	22.9	48.0	43.0	43.3	33.7	52.6
50歳代	36.8	37.8	30.7	44.9	33.5	33.9	28.0	39.9	34.9	35.6	31.0	40.2
60歳代	28.2	30.2	26.5	34.0	27.6	28.4	25.1	31.8	27.9	29.3	26.8	31.8
70歳代	28.0	33.4	30.3	36.7	27.7	30.1	27.4	32.9	27.8	31.6	29.6	33.7
80歳以上	15.3	25.9	22.0	30.1	17.2	23.9	21.1	26.9	16.5	24.7	22.4	27.1
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	76.2	91.0	78.3	100.0	88.2	100.0	89.8	100.0	82.2	95.6	87.8	100.0
Ⅰ期	77.2	93.7	88.5	98.1	81.3	92.9	88.1	96.8	79.2	93.2	89.8	96.3
Ⅱ期	54.6	68.5	62.5	74.2	61.1	69.9	64.9	74.6	58.1	69.3	65.5	72.9
Ⅲ期	18.4	22.7	18.9	26.8	21.0	23.9	20.5	27.4	19.8	23.4	20.8	26.0
Ⅳ期	1.8	2.2	1.4	3.2	2.3	2.6	1.9	3.4	2.1	2.4	1.9	3.1
不詳	12.0	16.3	8.6	26.6	12.9	16.0	9.9	23.6	12.5	16.1	11.1	22.1
観血的治療												
有	52.1	63.6	60.3	66.9	55.5	62.7	59.7	65.5	53.9	63.1	60.9	65.3
原発巣・治癒切除	58.7	71.7	68.1	75.1	63.0	71.2	68.0	74.2	61.0	71.4	69.1	73.7
原発巣・非治癒切除	13.8	16.6	11.0	23.5	15.6	17.2	12.1	23.1	14.7	17.0	13.0	21.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	20.0	27.1	11.9	46.7	29.8	34.1	19.3	50.3	25.3	31.1	19.9	43.5
無	1.6	2.1	1.4	3.1	1.9	2.3	1.6	3.1	1.8	2.2	1.7	2.8

\*全体集計には含まれていない

## 15. 腎がん(腎癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	420	18,438	4,682	97.7	66.1
I 期	405	12,570	1,580	97.5	65.2
II 期	304	865	175	98.2	64.1
III 期	352	2,147	680	98.2	68.5
IV 期	381	2,515	2,072	98.0	68.5

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、18,438 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 4,682 例、打ち切りが 431 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.7%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-15-1 に示す。性別で見ると、男性が約 71%、女性が約 29%であった。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が 31.4%、70 歳代が 29.8%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 68%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 82%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 52%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	13,022	100.0	5,416	100.0	18,438	100.0
拠点病院等	12,276	94.3	5,125	94.6	17,401	94.4
都道府県推薦病院	746	5.7	291	5.4	1,037	5.6
年齢						
平均年齢 (SD)	65.6	12.0	67.3	12.6	66.1	12.2
0-14 歳	(4-6)		(1-3)		(4-6)	
15-39 歳	334	2.6	143	2.6	477	2.6
40 歳代	1,058	8.1	358	6.6	1,416	7.7
50 歳代	2,093	16.1	804	14.8	2,897	15.7
60 歳代	4,235	32.5	1,555	28.7	5,790	31.4
70 歳代	3,830	29.4	1,662	30.7	5,492	29.8
80 歳以上	1,468	11.3	893	16.5	2,361	12.8
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	8,919	68.5	3,651	67.4	12,570	68.2
II 期	538	4.1	327	6.0	865	4.7
III 期	1,550	11.9	597	11.0	2,147	11.6
IV 期	1,793	13.8	722	13.3	2,515	13.6
不詳	222	1.7	119	2.2	341	1.8
観血的治療						
有	10,757	82.6	4,411	81.4	15,168	82.3
原発巣・治癒切除	10,036	77.1	4,165	76.9	14,201	77.0
原発巣・非治癒切除	470	3.6	168	3.1	638	3.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	251	1.9	78	1.4	329	1.8
無	2,265	17.4	1,005	18.6	3,270	17.7
発見経緯						
がん検診	164	1.3	79	1.5	243	1.3
健康診断・人間ドック	1,940	14.9	649	12.0	2,589	14.0
他疾患経過観察中	6,811	52.3	2,703	49.9	9,514	51.6
その他・不明	4,107	31.5	1,985	36.7	6,092	33.0

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-15-2に示す。全体の5年実測生存率は約74%、相対生存率が約83%であった。年代別にみた相対生存率は、80歳以上を除き80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が約97%、Ⅱ期が約88%、Ⅲ期が約77%、Ⅳ期が約18%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約92%で、その内原発巣・治癒切除例では約95%であった。

表3-15-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	73.7	83.0	82.2	83.9	76.1	82.1	80.8	83.3	74.4	82.7	82.0	83.4
拠点病院等	73.8	83.1	82.3	84.0	76.3	82.3	81.0	83.5	74.6	82.9	82.2	83.6
都道府県推薦病院	71.1	80.9	77.0	84.5	73.0	79.3	73.3	84.5	71.6	80.4	77.2	83.4
年齢												
0-39歳	90.9	91.3	87.6	94.0	92.3	92.5	86.7	95.9	91.3	91.7	88.7	93.9
40歳代	88.7	89.6	87.5	91.4	91.1	91.6	88.1	94.1	89.3	90.1	88.4	91.6
50歳代	84.6	86.9	85.2	88.4	84.1	85.2	82.4	87.6	84.5	86.4	85.0	87.7
60歳代	77.1	82.4	81.0	83.7	80.8	83.1	81.0	85.0	78.1	82.6	81.4	83.7
70歳代	67.9	80.4	78.6	82.1	74.9	81.2	78.9	83.4	70.0	80.6	79.2	82.0
80歳以上	48.5	78.6	74.4	82.7	54.4	72.8	68.3	77.2	50.7	76.3	73.2	79.3
UICC TNM分類総合ステージ												
Ⅰ期	86.3	96.8	96.0	97.6	89.7	96.6	95.4	97.6	87.3	96.7	96.1	97.4
Ⅱ期	77.3	87.0	82.7	90.8	83.4	88.5	83.8	92.4	79.6	87.6	84.5	90.4
Ⅲ期	68.5	78.7	76.0	81.3	66.9	72.8	68.5	76.7	68.0	77.0	74.7	79.2
Ⅳ期	16.9	19.2	17.3	21.2	14.9	16.2	13.5	19.2	16.3	18.3	16.7	20.0
不詳	46.2	55.2	47.2	62.8	52.7	58.2	47.9	67.6	48.5	56.3	50.0	62.3
観血的治療												
有	82.9	92.2	91.4	93.0	86.4	92.1	90.9	93.1	84.0	92.2	91.5	92.8
原発巣・治癒切除	85.4	95.0	94.2	95.7	88.2	94.0	92.9	95.0	86.3	94.7	94.1	95.3
原発巣・非治癒切除	38.6	43.0	38.1	47.9	44.4	47.1	38.9	55.0	40.1	44.1	39.8	48.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	65.6	73.7	66.7	79.9	80.7	84.6	73.4	92.2	69.2	76.3	70.5	81.5
無	29.1	37.0	34.6	39.4	30.7	36.6	33.2	40.0	29.6	36.8	34.9	38.8

## 16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	410	7,298	4,397	98.5	74.1
0期*	343	1,835	409	97.2	72.1
I期	350	1,364	429	98.2	73.8
II期	338	1,102	437	97.6	74.4
III期	372	2,034	1,079	98.5	73.5
IV期	381	2,353	2,086	99.0	73.4

\*全体集計には含まれていない。施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、7,298例で、5年以内に亡くなっていたのが4,397例、打ち切りが110例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.5%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-16-1に示す。性別でみると、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約38%、80歳以上が約32%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約32%を占めた。観血的治療の実施割合は、約67%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約35%であった。

表 3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	4,891	100.0	2,407	100.0	7,298	100.0
拠点病院等	4,514	92.3	2,209	91.8	6,723	92.1
都道府県推薦病院	377	7.7	198	8.2	575	7.9
年齢						
平均年齢 (SD)	73.2	9.6	75.9	9.4	74.1	9.6
0-14歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39歳	10	0.2	(4-6)		15	0.2
40歳代	56	1.1	16	0.7	72	1.0
50歳代	334	6.8	99	4.1	433	5.9
60歳代	1,228	25.1	437	18.2	1,665	22.8
70歳代	1,883	38.5	896	37.2	2,779	38.1
80歳以上	1,380	28.2	954	39.6	2,334	32.0
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	1,399	-	436	-	1,835	-
I期	973	19.9	391	16.2	1,364	18.7
II期	753	15.4	349	14.5	1,102	15.1
III期	1,376	28.1	658	27.3	2,034	27.9
IV期	1,491	30.5	862	35.8	2,353	32.2
不詳	298	6.1	147	6.1	445	6.1
観血的治療						
有	3,345	68.4	1,520	63.1	4,865	66.7
原発巣・治癒切除	2,949	60.3	1,314	54.6	4,263	58.4
原発巣・非治癒切除	287	5.9	147	6.1	434	5.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	109	2.2	59	2.5	168	2.3
無	1,546	31.6	887	36.9	2,433	33.3
発見経緯						
がん検診	24	0.5	(7-9)		31	0.4
健康診断・人間ドック	168	3.4	70	2.9	238	3.3
他疾患経過観察中	1,777	36.3	755	31.4	2,532	34.7
その他・不明	2,922	59.7	1,575	65.4	4,497	61.6

\*全体集計には含まれていない

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-16-2に示す。全体の5年実測生存率は約39%、相対生存率が約47%であった。年代別にみた相対生存率は、全体で70歳以上では50%を下まわっていた。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が約83%、Ⅱ期が約73%、Ⅲ期が約55%、Ⅳ期が約12%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約65%で、そのうち原発巣・治癒切除例では約70%であった。

表3-16-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	39.7	48.7	47.0	50.4	38.6	44.4	42.2	46.7	39.3	47.3	45.9	48.7
拠点病院等	39.4	48.4	46.6	50.2	38.6	44.3	42.0	46.6	39.2	47.0	45.6	48.4
都道府県推薦病院	42.9	52.8	46.6	59.0	39.0	45.9	37.9	53.9	41.5	50.4	45.4	55.3
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	63.0	63.7	49.2	75.2	-	-			61.3	62.0	49.4	72.4
50歳代	58.1	59.8	54.1	65.1	62.3	63.1	52.6	72.0	59.1	60.6	55.6	65.2
60歳代	49.7	53.3	50.3	56.3	54.8	56.4	51.4	61.1	51.1	54.1	51.6	56.7
70歳代	41.7	49.8	47.2	52.5	43.3	47.0	43.5	50.5	42.2	48.9	46.8	51.1
80歳以上	22.3	37.3	33.7	41.0	23.8	32.8	29.1	36.6	22.9	35.4	32.8	38.1
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	76.9	82.3	89.5	94.8	79.1	89.8	85.1	93.8	77.5	91.6	89.3	93.8
Ⅰ期	67.1	82.9	79.1	86.5	71.5	82.6	77.1	87.4	68.4	82.8	79.7	85.7
Ⅱ期	58.9	73.2	68.7	77.5	62.1	72.3	66.1	78.0	59.9	72.9	69.3	76.4
Ⅲ期	46.4	56.1	52.9	59.3	46.9	53.0	48.7	57.3	46.6	55.1	52.5	57.7
Ⅳ期	10.1	11.9	10.2	13.8	11.7	13.0	10.7	15.5	10.7	12.3	10.9	13.8
不詳	18.4	25.3	19.6	31.7	14.5	19.5	12.6	27.9	17.1	23.4	18.8	28.4
観血的治療												
有	54.4	65.5	63.4	67.5	56.9	64.2	61.4	67.0	55.2	65.1	63.4	66.7
原発巣・治癒切除	58.3	70.2	68.0	72.3	61.4	69.2	66.2	72.1	59.3	69.9	68.1	71.6
原発巣・非治癒切除	20.0	24.0	18.7	29.8	23.0	26.2	18.7	34.4	21.0	24.7	20.4	29.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	38.4	46.7	35.6	57.8	40.7	45.6	31.6	59.1	39.2	46.3	37.5	55.0
無	7.8	10.8	9.0	12.7	7.1	9.0	7.0	11.3	7.6	10.1	8.8	11.6

\*全体集計には含まれていない

## 17. 甲状腺がん(甲状腺癌)

## 甲状腺乳頭濾胞がん(甲状腺乳頭濾胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	409	14,149	1,029	97.1	57.9
I 期	376	5,833	226	95.7	49.5
II 期	275	767	50	98.0	61.3
III 期	368	4,312	231	98.1	62.8
IV 期	351	3,013	481	98.4	65.7

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、14,149 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 1,029 例、打ち切りが 410 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.1%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17①-1 に示す。性別で見ると、男性が約 26%、女性が約 74%であった。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が最も多く 25.7%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が 41.2%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 92%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 45%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,710	100.0	10,439	100.0	14,149	100.0
拠点病院等	3,461	93.3	9,689	92.8	13,150	92.9
都道府県推薦病院	249	6.7	750	7.2	999	7.1
年齢						
平均年齢 (SD)	58.8	15.3	57.5	15.8	57.9	15.7
0-14 歳	(7-9)		27	0.3	36	0.3
15-39 歳		12.2	1,519	14.6	1,970	13.9
40 歳代		14.9	1,707	16.4	2,258	16.0
50 歳代		18.2	1,921	18.4	2,595	18.3
60 歳代		27.5	2,622	25.1	3,643	25.7
70 歳代		20.8	1,997	19.1	2,769	19.6
80 歳以上		6.3	646	6.2	878	6.2
UICC TNM 分類総合ステージ*						
I 期	1,340	36.1	4,493	43.0	5,833	41.2
II 期	222	6.0	545	5.2	767	5.4
III 期	1,014	27.3	3,298	31.6	4,312	30.5
IV 期	1,066	28.7	1,947	18.7	3,013	21.3
不詳	68	1.8	156	1.5	224	1.6
観血的治療						
有	3,374	90.9	9,603	92.0	12,977	91.7
原発巣・治癒切除	2,917	78.6	8,404	80.5	11,321	80.0
原発巣・非治癒切除	317	8.5	786	7.5	1,103	7.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	140	3.8	413	4.0	553	3.9
無	336	9.1	836	8.0	1,172	8.3
発見経緯						
がん検診	69	1.9	301	2.9	370	2.6
健康診断・人間ドック	704	19.0	1,573	15.1	2,277	16.1
他疾患経過観察中	1,674	45.1	4,721	45.2	6,395	45.2
その他・不明	1,263	34.0	3,844	36.8	5,107	36.1

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-17①-2に示す。全体の5年実測生存率は約93%、相対生存率が約98%であった。年代別にみた相対生存率は、どの年代でも95%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、IV期でも90%を超えていた。

表3-17①-2 属性別5年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	89.3	97.1	96.0 98.2	93.8	97.7	97.2 98.2	92.7	97.5	97.1 98.0
拠点病院等	89.4	97.4	96.2 98.4	93.7	97.5	97.0 98.0	92.6	97.5	97.0 98.0
都道府県推薦病院	87.2	93.5	88.3 97.4	95.4	99.6	97.8 100.0	93.4	98.2	96.3 99.6
年齢									
0-39歳	98.0	98.4	96.6 99.3	99.3	99.5	99.0 99.9	99.0	99.3	98.7 99.6
40歳代	97.6	98.6	96.8 99.6	98.6	99.2	98.5 99.7	98.4	99.1	98.4 99.5
50歳代	96.5	99.1	97.3 100.0	97.6	98.8	98.0 99.4	97.3	98.9	98.2 99.5
60歳代	88.9	95.0	92.7 96.9	94.9	97.5	96.5 98.3	93.2	96.8	95.9 97.6
70歳代	82.0	97.0	93.5 100.0	87.5	94.4	92.8 95.9	86.0	95.1	93.6 96.5
80歳以上	58.1	94.8	84.0 100.0	72.5	96.5	91.6 100.0	68.6	96.1	91.6 100.3
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	94.0	98.5	97.1 99.8	96.7	99.0	98.4 99.5	96.1	98.9	98.3 99.4
II期	92.2	100.0	97.0 100.0	93.9	99.9	97.4 100.0	93.4	100.5	98.3 102.1
III期	91.6	100.0	98.6 100.0	95.5	99.9	99.1 100.0	94.6	100.1	99.3 100.8
IV期	81.1	91.2	88.4 93.7	85.5	91.1	89.3 92.7	83.9	91.1	89.7 92.5
不詳	82.2	91.5	78.7 99.6	80.9	86.5	78.7 92.3	81.3	88.0	81.7 92.9
観血的治療									
有	92.2	99.4	98.3 100.3	95.8	99.3	98.8 99.7	94.9	99.3	98.9 99.7
原発巣・治癒切除	93.0	100.0	99.1 100.0	96.3	99.7	99.2 100.0	95.5	99.8	99.4 100.2
原発巣・非治癒切除	85.4	92.8	88.0 96.6	92.4	96.6	94.4 98.3	90.4	95.5	93.5 97.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	90.7	98.4	91.7 102.6	93.0	96.5	93.4 98.6	92.4	97.0	94.3 99.0
無	60.2	73.4	66.8 79.6	70.8	78.7	75.1 82.0	67.7	77.2	74.0 80.2



## 甲状腺未分化がん（甲状腺未分化癌）

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	172	291	272	98.3	73.6
Ⅳ期	167	281	262	98.2	73.5

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、291 例で、5 年以内に亡くなっていたのが 272 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.3%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17②-1 に示す。性別で見ると、男性が約 41%、女性が約 59%であった。診断時の年齢分布をみると、70 歳代が最も多く約 38%であった。観血的治療の実施割合は、約 40%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 14%であった。

表 3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	118	100.0	173	100.0	291	100.0
拠点病院等	110	93.2	159	91.9	269	92.4
都道府県推薦病院	(7-9)		14	8.1	22	7.6
年齢						
平均年齢 (SD)	72.1	10.6	74.6	9.0	73.6	9.7
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40 歳代	(4-6)		0	0.0	(4-6)	
50 歳代	10	8.5	(7-9)		18	6.2
60 歳代	30	25.4	44	25.4	74	25.4
70 歳代	46	39.0	64	37.0	110	37.8
80 歳以上	28	23.7	57	32.9	85	29.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
Ⅳ期	116	98.3	165	95.4	281	96.6
不詳	(1-3)		(7-9)		10	3.4
観血的治療						
有	45	38.1	72	41.6	117	40.2
原発巣・治癒切除	19	16.1	33	19.1	52	17.9
原発巣・非治癒切除	23	19.5	34	19.7	57	19.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)		(4-6)		(7-9)	
無	73	61.9	101	58.4	174	59.8
発見経緯						
がん検診	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
健康診断・人間ドック	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
他疾患経過観察中	13	11.0	28	16.2	41	14.1
その他・不明	104	88.1	143	82.7	247	84.9

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-17②-2に示す。全体の5年実測生存率、相対生存率ともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別5年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	4.5	5.5	2.1	11.6	6.1	6.9	3.5	11.9	5.4	6.3	3.7	10.0
拠点病院等	4.9	6.0	2.3	12.5	6.1	6.8	3.3	12.0	5.6	6.5	3.7	10.3
都道府県推薦病院	-	-			-	-			-	-		
年齢												
0-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			-	-		
50歳代	-	-			-	-			-	-		
60歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	7.0	1.8	17.2	4.1	4.2	1.1	10.8
70歳代	7.5	8.7	2.4	20.8	4.4	4.8	1.1	12.9	5.3	6.1	2.3	12.7
80歳以上	-	-			5.6	7.2	1.9	17.8	3.7	5.2	1.4	13.3
UICC TNM 分類総合ステージ												
IV期	4.6	5.7	2.2	11.95	6.5	7.26	3.69	12.48	5.7	6.6	3.9	10.4
不詳	-	-			-	-			-	-		
観血的治療												
有	6.7	8.3	2.2	20.3	11.9	13.4	6.2	23.7	9.7	11.3	5.9	18.8
原発巣・治癒切除	-	-			14.1	15.7	5.0	32.2	12.5	14.4	5.8	27.1
原発巣・非治癒切除 <sup>¥</sup>	-	-			9.5	10.8	2.8	25.5	7.3	8.2	2.7	18.1
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	3.6	4.1	0.9	11.9	2.0	2.2	0.4	7.1	2.6	3.0	1.0	6.8

## 甲状腺髄様がん（甲状腺髄様癌）

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	60	87	(7-9)	96.6	56.5
I 期	21	22	(1-3)	95.5	51.7
II 期	22	24	(1-3)	100.0	63.7
III 期	16	16	0	100.0	58.8
IV 期	18	25	(4-6)	92.0	52.4

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は 87 例で、集計対象全体で生存状況把握割合は、96.6%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。診断時の平均年齢は 56.5 歳であった。観血的治療を受けた者が 79 名であ

った。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 35 名であった。

## (3) 5 年生存率

5 年生存率を表 3-17③-2 に示す。全体の 5 年実測生存率が 89.6%、相対生存率が 95.9%であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	87	100.0
拠点病院等	87	100.0
都道府県推薦病院	0	0.0
年齢		
平均年齢 (SD)	56.5	17.7
0-14 歳	0	0.0
15-39 歳	16	18.4
40 歳代	15	17.2
50 歳代	13	14.9
60 歳代	20	23.0
70 歳代	14	16.1
80 歳以上	(7-9)	
UICC TNM 分類総合ステージ*		
I 期	22	25.3
II 期	24	27.6
III 期	16	18.4
IV 期	25	28.7
不詳	0	0.0
観血的治療		
有	79	90.8
原発巣・治癒切除	71	81.6
原発巣・非治癒切除	(4-6)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(4-6)	
無	(7-9)	
発見経緯		
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	23	26.4
他疾患経過観察中	35	40.2
その他・不明	27	31.0

表 3-17③-2 属性別 5 年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	89.6	95.9	86.6	100.0
拠点病院等	89.6	95.9	86.6	100.0
観血的治療				
有	93.6	99.0	90.2	100.0
無	-	-		

## 18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2013 - 2014	404	11,008	4,187	98.4	58.0
I 期	369	4,562	527	98.2	54.0
II 期	293	957	270	97.4	58.8
III 期	349	3,335	1,876	98.8	60.0
IV 期	358	1,740	1,287	98.7	63.3

施設数は、当該対象腫瘍が登録されていた施設数

## (1) 生存状況把握割合

集計対象は、11,008 例で、5 年以内に亡くなっていた者が 4,187 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

## (2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が最も多く約 26%、次いで 50 歳代が約 24%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 41%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 85%であった。

表 3-18-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	11,008	100.0
拠点病院等	10,378	94.3
都道府県推薦病院	630	5.7
年齢		
平均年齢 (SD)	58.0	14.6
0-14 歳	59	0.5
15-39 歳	957	8.7
40 歳代	2,046	18.6
50 歳代	2,676	24.3
60 歳代	2,877	26.1
70 歳代	1,647	15.0
80 歳以上	746	6.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	4,562	41.4
II 期	957	8.7
III 期	3,335	30.3
IV 期	1,740	15.8
不詳	414	3.8
観血的治療		
有	9,381	85.2
原発巣・治癒切除	6,612	60.1
原発巣・非治癒切除	1,993	18.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	776	7.0
無	1,627	14.8
発見経緯		
がん検診	403	3.7
健康診断・人間ドック	435	4.0
他疾患経過観察中	2,007	18.2
その他・不明	8,163	74.2

## (3) 5年生存率

5年生存率を表3-18-2に示す。全体の5年実測生存率は約62%、相対生存率が約64%であった。年代別にみた相対生存率は、全体としては70歳以上でやや低い傾向にあった。UICC TNM分類総合ステージ別に全体の相対生存率をみると、Ⅰ期が90.8%、Ⅱ期が74.0%、Ⅲ期が44.9%、Ⅳ期が26.6%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は71.9%で、そのうち原発巣・治癒切除例では81.1%であった。

表3-18-2 属性別5年生存率

	実測	相対	95%信頼区間	
全体	61.7	63.7	62.8	64.6
拠点病院等	61.8	63.8	62.8	64.8
都道府県推薦病院	59.6	62.0	57.8	65.8
年齢				
0-39歳	83.5	83.7	81.2	85.9
40歳代	73.6	74.0	72.0	75.9
50歳代	68.1	68.9	67.1	70.7
60歳代	58.0	59.5	57.6	61.4
70歳代	47.7	51.4	48.8	54.0
80歳以上	22.3	29.6	25.7	33.7
UICC TNM 総合ステージ				
Ⅰ期	88.4	90.8	89.8	91.7
Ⅱ期	71.5	74.0	70.9	76.8
Ⅲ期	43.4	44.9	43.1	46.6
Ⅳ期	25.5	26.6	24.5	28.8
不詳	44.4	46.6	41.5	51.6
観血的治療				
有	69.9	71.9	70.9	72.8
原発巣・治癒切除	78.9	81.1	80.0	82.1
原発巣・非治癒切除	42.4	43.8	41.5	46.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	63.5	65.5	61.9	68.9
無	14.2	15.2	13.4	17.1

## IV. 特別集計小児 AYA がんの 5 年生存率とサバイバー生存率

### 1. 小児 AYA がんの 5 年生存率

ここでは、院内がん登録 2016–2017 年小児 AYA 全国集計の分類に沿って、国際分類別に小児がんと AYA がんの 5 年生存率を集計した。なお、院内がん登録 5 年予後付データ収集への参加は任意であり、集計対象施設一覧は別途示すとおりである。小児がん拠点病院全てが集計対象となっていないことに留意が必要である。集計では、原則として浸潤がん（脳・中枢神経系の良性・良悪性不詳）を対象としている。

表 4-1 小児がん国際分類（ICCC-3）主分類別生存率（15 歳未満）

	施設数	対象数	生存状況 把握割合 (%)	平均年齢	実測生 存率	相対生 存率	95%信頼区間
白血病	102	946	99.3	5.7	87.9	88.0	85.7-89.9
リンパ腫	86	203	98.0	8.0	90.6	90.7	85.8-94.0
脳腫瘍	156	698	96.6	7.3	74.5	74.6	71.2-77.7
神経芽腫	68	163	98.8	1.9	78.5	78.6	71.4-84.2
網膜芽腫	27	105	96.2	1.1	95.2	95.4	89.0-98.1
腎腫瘍	32	50	94.0	3.9	93.8	93.8	82.0-98.0
肝腫瘍	43	69	100.0	2.8	87.0	87.1	76.5-93.1
骨腫瘍	58	136	97.8	10.9	70.4	70.5	62.0-77.4
軟部腫瘍	78	151	97.4	7.5	79.2	79.3	71.9-85.0
胚細胞腫瘍	98	199	98.0	8.3	96.5	96.6	92.8-98.4
その他のが ん（癌）	58	89	96.6	11.2	90.9	91.0	82.7-95.4

※上皮内癌を含まない、その他（10 例）や変換不能（48 例）を除く

小児がん：白血病の 5 年実測生存率

脳腫瘍の 5 年実測生存率

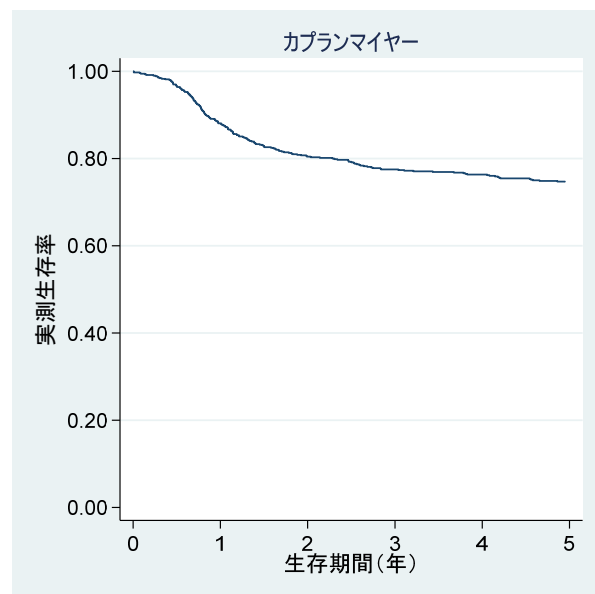
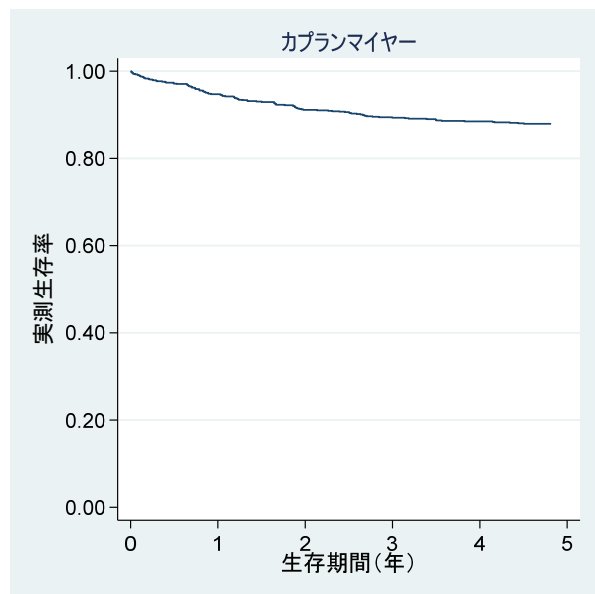


表 4-2 AYA 主分類別生存率 (15 歳以上 40 歳未満)

	施設数	対象数	生存状況 把握割合 (%)	平均年 齢	実測生 存率	相対生 存率	95%信頼区 間
白血病	264	1,406	94.8	28.5	74.8	75.0	72.6-77.2
リンパ腫	299	1,602	94.5	30.1	89.9	90.1	88.5-91.5
脳・脊髄腫瘍	276	1,716	93.4	30.3	84.1	84.3	82.4-86.0
骨・軟骨腫瘍	95	301	96.3	25.8	70.3	70.5	64.9-75.4
軟部肉腫	202	674	93.8	30.6	73.7	73.9	70.3-77.1
胚細胞性他	345	1,647	92.9	29.4	94.7	95.0	93.8-96.0
黒色腫・皮膚癌	184	451	88.7	33.4	87.5	87.8	84.3-90.6
癌腫 (上皮性の悪性腫瘍)	424	16,168	95.2	34.2	83.2	83.4	82.9-84.0
甲状腺がん (癌)	315	2,020	92.1	31.7	98.9	99.2	98.6-99.6
頭頸部のその他のがん (癌)	229	818	94.4	32.3	82.2	82.5	79.6-85.0
肺・気管支のがん (癌)	240	647	95.4	34.7	58.3	58.5	54.6-62.3
乳がん (癌)	368	4,253	96.8	35.4	89.7	90.0	89.0-90.9
腎がん (癌)	206	463	93.1	34.6	93.2	93.5	90.8-95.5
膀胱がん (癌)	69	79	96.2	34.9	73.1	73.4	62.0-81.8
性腺のがん (癌)	258	667	97.3	34.1	78.8	79.0	75.6-81.9
子宮頸部・子宮がん (癌)	332	3,584	94.6	34.2	88.8	89.0	87.9-90.0
大腸がん (癌)	367	1,685	94.4	34.5	74.6	74.8	72.6-76.9
胃がん (癌)	317	1,168	96.4	34.5	61.5	61.7	58.8-64.4
肝内胆管がん (癌)	110	161	96.9	33.9	51.7	51.8	43.8-59.3
膵臓癌他消化器系のがん (癌)	170	364	96.4	34.8	49.5	49.6	44.4-54.7
その他のがん (癌腫)	146	259	95.0	33.3	58.5	58.7	52.3-64.5
その他の癌新生物	213	510	90.6	32.0	84.3	84.5	81.0-87.4
分類不能の悪性新生物	117	170	96.5	32.8	39.0	39.1	31.7-46.4

※上皮内癌を含まない、変換不能 (1,468 例を除く)。癌腫別集計対象の分類とは異なることに留意。

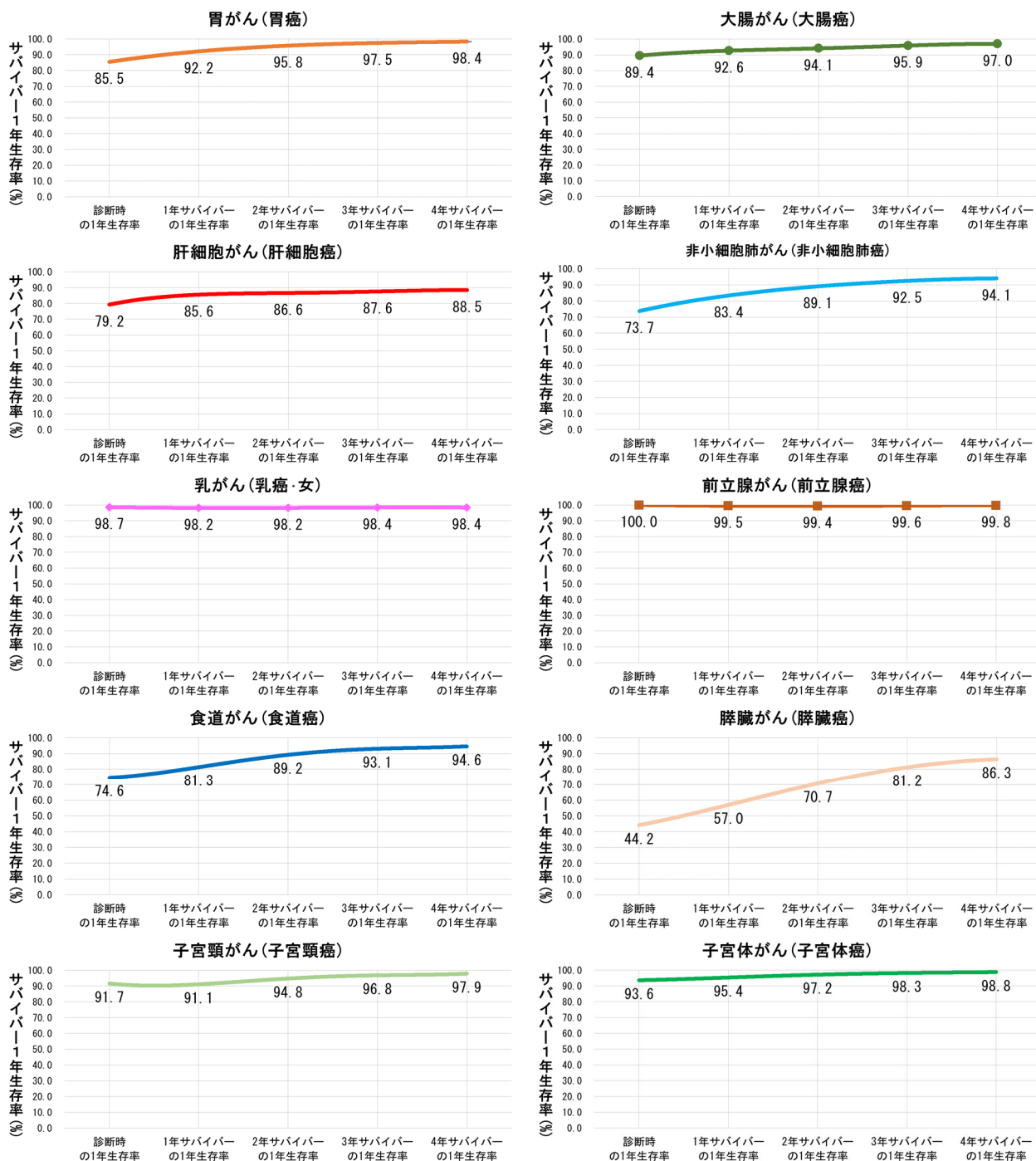
表 4-3 主な癌腫 (上皮性の悪性腫瘍) の UICC TNM 分類総合ステージ別生存率

	対象数	平均年齢	実測生存 率	相対生 存率	95%信頼区 間
乳がん (癌)					
I 期	1,522	35.7	98.1	98.3	97.5-98.1
II 期	1,837	35.3	92.4	92.7	91.4-93.8
III 期	628	35.1	80.4	80.6	77.2-83.5
IV 期	258	35.0	44.7	44.8	38.6-50.9
大腸がん (癌)					
I 期	480	34.3	97.4	97.8	95.8-98.9
II 期	296	34.4	92.2	92.5	88.7-95.0
III 期	469	35.1	83.2	83.5	79.8-86.6
IV 期	411	34.0	25.4	25.5	21.3-29.9
胃がん (癌)					
I 期	522	35.6	97.3	97.6	95.8-98.7
II 期	138	35.1	83.1	83.4	76.0-88.8
III 期	143	34.3	45.1	45.2	36.9-53.2
IV 期	357	32.8	5.9	6.0	3.8-8.9

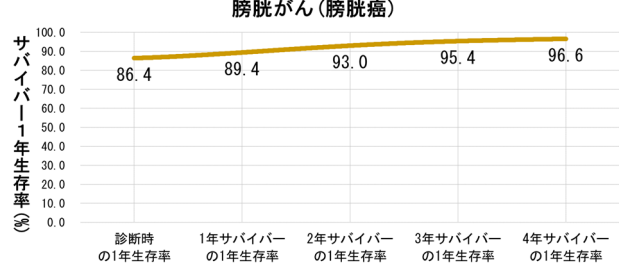
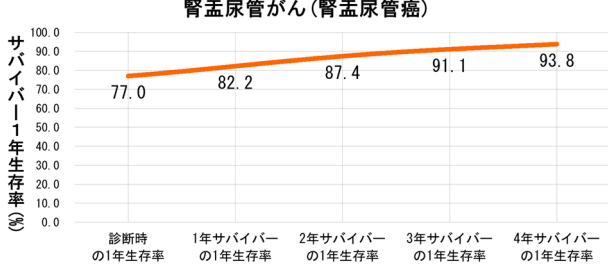
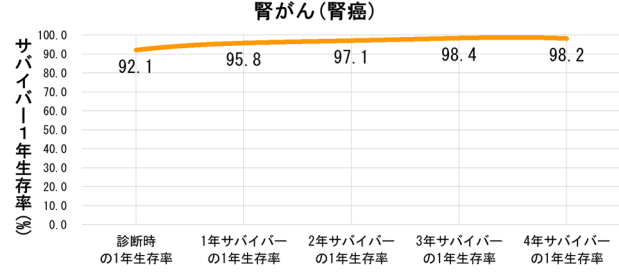
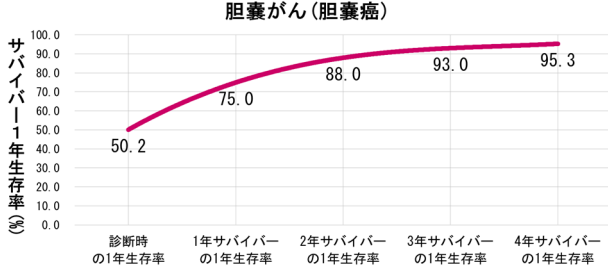
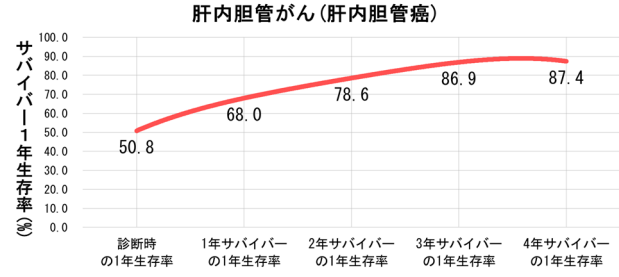
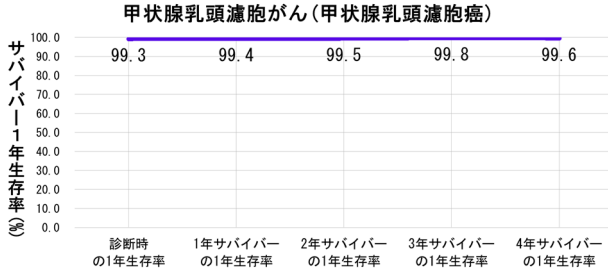
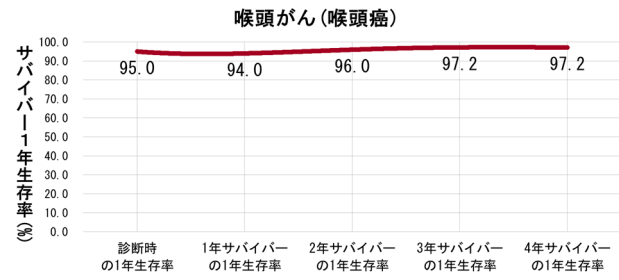
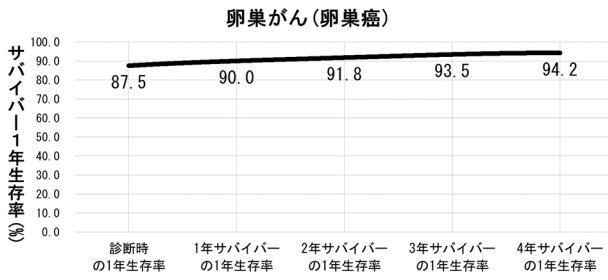
## 2. サバイバー生存率

サイバー生存率は、診断日からの経過日数ごとに、そこからある期間（例：1年間）を生きる確率を示す。例えば、非小細胞肺がんでは、診断日から診断1年後までの生存率は73.7%だが、診断1年後から診断2年後までの生存率は83.4%、さらに診断2年後から3年後までの生存率は89.1%となっており、長期生存するほど「次の1年間の生存率」が上がる。この「次の～年の生存率」を「サバイバー～年生存率」と言い、診断日からの時間経過を横軸に、「サバイバー～年生存率」を縦軸にとったものがサバイバー生存率のグラフである。

図4 サバイバー生存率







付表一覧

1. 集計対象施設一覧
2. 都道府県別 2013-2014 年 5 年生存率集計 ※コメントが集まり次第掲載 (PDF 参照)
3. 施設別 2013-2014 年 5 年生存率集計 ※コメントが集まり次第掲載 (PDF 参照)